

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況について

地方自治法第243条の3第2項の規定により、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の平成30年度収支決算及び令和元年度事業計画を別紙のとおり提出する。

令和元年6月14日

調布市長 長友貴樹

平成30年度決算報告書及び
令和元年度事業計画

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

目 次

平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1	概要	1
2	事業内容	8
(1)	展示事業	8
(2)	普及事業	9
(3)	資料収集・管理事業	16
(4)	資料整理・保存事業	17
(5)	閲覧サービス・情報公開事業	19
(6)	調査・研究事業	20
(7)	自主事業	22
(8)	施設管理運営事業	23
3	平成30年度調布市武者小路実篤記念館利用状況	25
	実篤記念館利用者数	25
4	役員・会議に関する事項	26
(1)	役員名簿（平成31年3月31日現在）	26
	ア 理事及び監事	26
	イ 評議員	26
(2)	会議の開催	26
	ア 理事会	26
	イ 評議員会	27
	平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支計算書	28
	平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館正味財産増減計算書	32
	平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館貸借対照表	35
	平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財産目録	37
	平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館財務諸表に対する注記	38
	監査報告書	39

令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

1	基本方針	40
2	令和元年度重点的な取組	41
3	事業概要	42
4	事業内容	45
(1)	展示事業	45
(2)	普及事業	45
(3)	資料収集・管理事業	49

(4) 資料整理・保存事業	50
(5) 閲覧サービス・情報公開事業	51
(6) 調査・研究事業	52
(7) 自主事業	52
(8) 施設管理運営事業	53
令和元年度調布市武者小路実篤記念館 展覧会日程	56
令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支予算書	57

平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告

1 概要

平成30年度は、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館（以下「財団」という。）が発足して6年目を迎え、指定管理者としての業務は5年目の指定期間最終年度となりました。

調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）は、その設立理念に基づき、これまでの実績と信頼を生かしながら、市民が広く誇り得る文化の拠点として、身近で、親しみのある教育、芸術・文化の場となるように努め、より良質で魅力のある事業を展開して参りました。また、組織運営の面においては、効率的であることはもとより、安定性及び継続性のある組織運営体制を構築するよう努めて参りました。

財団では、平成30年度は次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を固めながら積極的に事業を展開して参りました。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年8回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもたちへのアプローチと利用の拡大

学校教育において活用しやすいメニューの開発と提供など、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で効果的な運営体制の構築を目指し、実篤公園と一体となった事業展開や動線の改善など、相乗的な魅力の向上を図ります。

5 新しき村創立100周年関連事業の展開

武者小路実篤が、人間が人間らしく生きられる社会の実現を志して設立し、平成30年11月に創立100周年を迎える新しき村に関して、展覧会、普及事業等、事業全般にわたり、様々な記念事業を展開します。

<組織・運営目標>

- 1 財団の安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性の向上を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

- 2 実篤記念館が目指す将来像（事業目標）を実現するための事業について、継続性を持って実行します。
- 3 安定した法人運営を行うために、職員の人材育成を促進します。
- 4 財団としての特徴と独自性を生かし、事業の幅と奥行きを広げることで、全ての市民が利用できる施設として、来館者一人一人が満足してもらえるサービスを提供します。
- 5 財団は中期・長期的な展望に立ち、実篤記念館の新たな時代に向けた計画づくりを進めます。

実施した主な事業につきましては、以下のとおりです。

(1) 展示事業

展示事業は実篤記念館事業の中心であり、平成30年度は春・秋2回の特別展と収蔵品によるテーマ展を6回、そして、調布市文化会館たづくり（以下「たづくり」という。）展示室において移動展を開催しました。

春の特別展「誰でも画はかける～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～」では、絵手紙作家・小池邦夫氏に監修を依頼し、小池氏の視点から活動の原点となった武者小路実篤（以下「実篤」という。）の作品を紹介しました。現役で作家活動をしている方に監修を依頼するのは実篤記念館では初めての試みであり、新たな視点での取り組みとなりました。

秋に開催した新しき村創立100周年記念特別展「新しき村の100年」は、実篤の仕事の柱の一つである新しき村について、開館以来蓄積してきた情報とともに、平成29年度より調査と現状の記録を行った成果を加えて、実篤の思想と村の歴史や時代ごとの評価などを多面的に紹介しました。

たづくり展示室における移動展では、特別展と同時期に「新しき村美術展」を開催し、実篤の新しき村に関する書画や、村内・村外会員の美術作品を展示しました。

また、6回のテーマ展では、幅広い実篤の活動を紹介していくために、ひとつひとつに多角的な視点からテーマを設けました。企画展「実篤の足跡～旅と転居の記録から～」では各地での出会いが何をもたらしたか、また、春季展「鉛筆の表現～スケッチと水彩画を中心に～」では淡彩や油彩での制作の前にスケッチで表現方法を掴もうとする模索などを、それぞれ紹介しました。

平成29年度から調布市郷土博物館と展示事業での連携を深めています。平成30年度は実篤記念館の夏休み企画展で郷土博物館の資料によるコーナー「実篤が暮らした頃の仙川」を設け、実篤が仙川の家で暮らした昭和30年から昭和51年頃にかけての仙川・つつじヶ丘地域の写真を展示しました。

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

春の特別展「誰でも画はかける～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～」においては、展示に合わせて監修者である絵手紙作家・小池邦夫氏を講師に迎えて、講演会「小池邦夫が伝える武者小路実篤の魅力」を開催しました。講演を特別展の見学と合わせて聴くことにより、展示と普及事業が効果的な形で連携しました。

秋は、新しき村創立100周年を記念して開催した特別展「新しき村の100年」とたづくり移動展

「新しき村美術展」の2会場の間で、スタンプラリーを行いました。参加者に抽選で20人に新しき村の産物をプレゼントする応募券を配布するなどして、2つの展覧会を繋ぐ動機付けとしました。

平成29年度から新しき村の現状の記録撮影を行ってきた映像を作品にまとめ、創立記念日である11月14日に上映するとともに、新しき村会員からお話を聞く会を開催しました。このほか、2つの展覧会の会期中、実篤の新しき村の思想や会員の思いなど、展示では表現しきれない要素についても理解を深められるよう、映像上映会や文学講座などを開催しました。

平成29年度に引き続き、オンラインゲーム「文豪とアルケミスト」とのタイアップ企画として、11月3日から12月9日まで、新しき村創立100周年記念特別展と移動展の会期に合わせて、実篤記念館とたづくり展示室の2つの会場で、キャラクターパネルの展示、イベント限定グッズの販売等を実施しました。

夏休み自由研究サポートでは、毎日多くの子どもたちが展示の鑑賞と工作を楽しみ、かつ成果品を学校に提出することができるように、ワークシートに記入して仕掛け絵本の形に仕上げる「手のひら記念館を作ろう!」を新しくメニューに加えました。

企画展「自筆原稿から見えること」では、より深い鑑賞と理解を深める工夫として、手書き文字の原稿中心の展示に興味を持続してじっくり見ていただくために、展示を見なければ解けないマニアッククイズを実施しました。春季展「鉛筆の表現～スケッチと水彩画を中心に～」では、スケッチブックの展示で開けないページの画像をプリントした鑑賞アイテム「スケッチブックのなか見られます」を設置しました。

多摩川流域自治体交流「イベントラリー」への参加や、新たに府中市美術館・小金井市立はげの森美術館と当館の3館でスタンプラリーを実施しました。また、東部公民館の芸術講座を始め、他市や他県の施設等から依頼を受けて、財団職員が実篤に関する講座等の講師を務めました。自治体間や近隣の美術館、調布市の関係部署との連携を深め、より広く実篤記念館の事業活動の普及に努めて認知度を高めました。

普及事業では、調布市基本計画事業である「武者小路実篤を核とした特色ある事業の展開」に基づいて、講座・講演会やワークショップなど鑑賞から参加型まで様々な形で、幅広い世代に対して良質な事業を実施し、身近で、親しみのある教育、文化・芸術の場として、魅力ある事業を提供しました。

イ 学校教育との連携事業

実篤記念館が持つ文学や美術、自然、実篤の人物と生涯などに関する情報などの様々な要素を活用して、事業を実施しました。児童・生徒の感性を磨き、自身で考える力と豊かな心を育むことができるよう、多様な体験を提供する事業を展開して、次世代利用者の育成を図りました。

学校との連携では、夏休み行事案内チラシの表紙イラストの制作を、これまで第四中学校に依頼していましたが、平成30年度は第六中学校の美術部に依頼し、連携先を広げました。

平成11年度から行われている若葉小学校4年生の展覧会鑑賞授業では、担当教諭と協議を進めて教材作成などで協働しました。また、平成28年度から中断していた第四中学校卒業年次生に対する実篤紹介授業と記念館・公園の見学を再開しました。中学校図書室でのパネル展示も引き続き実施しました。

また、中学校図書室展示用パネルは、実篤について理解を広げるため、創立100周年を迎えた新しき村を解説した3枚を新たに制作しました。

平成30年度の新たな取り組みとして、第四中学校の協力を得て「吹奏楽部の演奏と茶道部による野点を楽しむ会」を開催しました。部活動の成果発表の場となるとともに、中学生と地域の人々が触れ合う有意義な機会となりました。

ウ ボランティア事業

ボランティア活動では「ガイド」「普及事業サポート」「環境整備」の3グループが活動しています。ガイドグループによるボランティアガイドは利用者も多く、利用者・ボランティア双方とも満足度が高いものとなっています。平成30年度は原則として土曜日・日曜日を交互に行いました。

普及事業グループでは「実篤に挑戦！～筆と墨で絵をかこう～」をボランティアが主体となって運営したほか、記念館が開催した講座・講演会の運営を補助しました。

環境整備グループは、中庭の花の手入れのほか、平成29年度後半から始めた実篤公園の菖蒲園の手入れを継続してきたことで開花数が増え、来園者から好評を得ました。このほか、資料の保存環境維持のための防虫対策、旧邸や屋外展示物の清掃などの維持管理で実篤記念館に協力しました。

エ 友の会事業

友の会事業では、会員の増強と事業の充実に努めるため、会員に各種情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行しました。

オ 広報事業

実篤記念館の事業活動を始めとして、実篤記念館と実篤公園の魅力をより多くの方々に知ってもらうため、広報に積極的に取り組みました。

ツイッターの当館独自アカウントでは、来館に関する状況に即応した情報発信と、興味関心の持続を図ることを目的とした実篤に関するきめ細かな情報提供に努めました。

「ぐるっとパス事業」では、＜東京・ミュージアムぐるっとパス2018＞事業に参加することにより、実篤記念館の活動の周知と広報の拡充を図りました。

「印刷物編集・刊行事業」では、広く実篤への理解を深めるために、春の特別展のパンフレットや小・中学生向けの解説シート、記念館事業を紹介する館報などの刊行物を編集・刊行しました。平成30年度は、新しき村創立100周年記念特別展において、今後とも活用できる記録とするために、通常よりページ数の多い図録を発行しました。

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集事業

実篤記念館事業の一層の充実に努めるため、美術作品、原稿、書簡類、図書など関係資料の収集に努めています。財団では引き続き各種資料情報を集め、図書・雑誌等の購入業務を行うとともに、永年の実績による信頼に基づいて調布市への寄贈・寄託等の手続きを行いました。

イ 資料管理事業

指定管理業務として、引き続き所蔵作品の貸出に関わる申請・承認や貸出作業への対応や、貴重な作

品の保全のための動産保険の加入手続き等を行いました。

(4) 資料整理・保存事業

平成30年度は、旧武者小路実篤邸（以下「旧実篤邸」という。）の国の登録有形文化財登録に向けて、調布市の文化財行政の窓口である郷土博物館と連携して対応に当たり、その結果、平成30年11月に登録されました。

また、収集した作品・資料を速やかに整理して、良好な状態で保存しました。

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

閲覧室での開架図書を中心とする一般閲覧業務やレファレンス業務では、展覧会や事業に合わせて図書の紹介や資料の活用を促すなど、資料利用のフロントとしてのサービスの充実に努めました。

また、開架図書や貴重な自筆作品に対する特別閲覧やレファレンス業務では、所蔵資料と実篤及び『白樺』の美術活動に関する専門的な知識と情報を活用し、高度な質問や閲覧にも対応しました。

イ 情報公開事業

コンテンツや情報の充実に努めるとともに、情報提供システム（収蔵品データベース、情報閲覧システム、映像視聴システム、ホームページ）の運用を引き続き進めました。

(6) 調査・研究事業

特別展及び企画展に関連する所蔵資料や個人・他館所蔵資料の調査を実施しました。これまでの調査で蓄積してきた情報を活用し、他の文学館や美術館、研究機関の協力も得ながら、「実篤、白樺、新しき村」に関する情報センターとして、調査・研究活動の充実に努めました。

平成30年度は、平成29年度から引き続き新しき村が所蔵する資料の調査と現状の記録に努め、その成果を特別展と関連事業に生かしました。

また、平成30年度は、過去に映画化された実篤の文学作品について、当館及び他館の資料を調査しました。その成果を生かし、「映画のまち」である調布市と連携して、今後特別展等を企画して参ります。

このほか、平成29年度から借用している白樺同人で作家の長與善郎氏に関する資料について、引き続き整理と調査を進めました。また、長與家より借用している資料から、書簡34点の翻刻を行いました。今後、この成果を特別展の開催などで生かして参ります。

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

ミュージアムグッズの販売を通して、広く実篤作品の魅力や実篤記念館の活動の周知と認知度を高め、自主財源を増やすよう努めました。売上については特別会計で処理することにより、会計の透明化を図りました。その収益は、自主事業の充実や魅力あるミュージアムグッズ作りに充て、また、普及事業の更なる充実をサポートしました。

新しき村100周年記念事業では、新しき村出身のイラストレーターによるイラストを使用してクリアファイルを制作・販売しました。その収益の一部は、新しき村の協力に対する礼品贈呈に充てました。

例年バレンタインシーズンに販売しているオリジナル限定チョコレートを、平成30年度は平成

31年1月18日に発売したところ、大きな反響があり、調布市内では発売から6日間で完売となりました。

来館者アンケートの要望や平成28・29年度のミュージアムアドバイザーの指摘を受け、ミュージアムショップのリニューアルを実施しました。商品陳列棚とワゴンを制作・導入して、買いやすさやショップ空間の魅力向上に努めました。この費用は、これまでのグッズ販売の収益を活用しました。

イ 自主事業

自主財源を確保するために駐車場に飲料の自動販売機を設置し、その収益を一般会計事業に活用しました。

自主事業として、桐朋学園大学や第四中学校の部活動と協力して、それぞれコンサートを開催し、また、せんがわ劇場との共催で朗読ワークショップを開催して、それぞれ博学連携・地域連携を進めました。

このほか、二次資料の写真資料等の貸出の対応を行いました。

また、新たに仙川駅前に設置された案内掲示板に実篤記念館・公園の案内広告を掲載し、仙川駅利用者への記念館の周知に努めました。

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

指定管理業務の実篤記念館施設管理運営業務では、施設の維持保全や利用者の安全を確保するための防災訓練を行うなど、安全・快適・清潔な施設の維持管理に努めました。開館から33年が経過し、施設や設備の老朽化による不具合が多くなってきている中、展示室床の木ブロック目地や雨漏りの修繕を始め、必要な修繕を実施しました。また、3箇年計画で行ってきた収蔵庫の二酸化炭素消火設備のガス弁の取換の最終3年目分を実施しました。

貴重な所蔵作品や資料を永く後世に伝えていくために、平成30年度は隔年で実施している環境調査を行い、収蔵環境の状況を把握することにより、良好な保全に努めました。

利用者からの要望の高い案内誘導サインについては、調布市公共サイン整備ガイドラインに基づきデザインの統一を図り、改修に取り組みました。

来館者に対して展示や施設に関するアンケートは年間を通して実施し、来館者の意見を取入れるよう努め、満足度の高い施設としての維持管理及びサービスの提供に努めました。また、ミュージアムアドバイザーから施設・設備の運営管理について様々な提案をもらいました。これらは今後の記念館運営に役立てて参ります。

イ 実篤公園日常管理

調布市より受託した実篤公園の日常管理業務は5年目となりました。また、誰もが安心して安全に公園を利用できるように、公開に関する業務、清掃や警備などの実篤公園と旧実篤邸の日常管理を行いました。また、実篤公園の樹木や園路、旧実篤邸の建物の状況を常に把握し、必要に応じて調布市緑と公園課と協議して日常管理に努めました。

(9) 職員の人材育成

人材育成では、各職員の担当職務について能力の向上を図るため、平成30年度は総務係・事業係ともに各種の研修等への積極的な参加を進めました。

学芸業務に携わる事業係職員のうち、特に若手職員を中心に資料の保存・共有・活用やミュージアムエデュケーション、図書館・公民館との連携など、国や公益財団等で実施される研修会等に参加しました。これにより、博物館施設の職員としての技術を習得するとともに、今日的な課題や動向について学習と情報収集に努めました。このほか、引き続き、若手職員が総合的な力を身に付けるため、経験を積んだ職員の指導を受けながら展示・普及事業を担当することで知識や展示・表現方法の技術の継承に努めました。また、館内で勉強会を開催して、学芸員としての質の向上を図りました。

総務係職員については、社会保険事務や契約に関して外部の協会が主催する研修に参加し、また、調布市が開催する職員研修に参加することで公共施設の職員としての資質を高め、正確な知識と事務処理を身につけ、スキルアップを図るよう努めました。

2 事業内容

(1) 展示事業

事業名	開催期間	入場者(人)	開催日数
春季展「筆の向くまま」～実篤の自筆原稿～	平成30年3月17日(土)～4月22日(日)	大人 454 子ども 52 計 506	19日 (4月分のみ)
春の特別展「誰でも画はかける」～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～	4月28日(土)～6月3日(日)	大人 1,674 子ども 60 計 1,734	32日
企画展「家族の肖像」	6月16日(土)～7月16日(月・祝)	大人 724 子ども 54 計 778	27日
夏休み企画「武者小路実篤入門」	7月21日(土)～9月2日(日)	大人 833 子ども 290 計 1,123	38日
郷土博物館共催コーナー展示「実篤が暮らした頃の仙川」	7月21日(土)～8月5日(日)		14日
秋季展「書の世界」～愛蔵品と作品から～	9月8日(土)～10月8日(月・祝)	大人 730 子ども 146 計 876	27日
新しき村創立100周年記念特別展「新しき村の100年」	10月20日(土)～12月9日(日)	大人 1,944 子ども 58 計 2,002	44日
移動展「新しき村美術展」(会場:調布市文化会館たづくり1階展示室)	11月3日(土・祝)～12月9日(日)	計 3,362	35日
企画展「実篤の足跡」～旅と転居の記録から～	12月15日(土)～平成31年1月27日(日)	大人 778 子ども 47 計 825	33日
企画展「自筆原稿から見えること」	平成31年2月2日(土)～3月10日(日)	大人 880 子ども 184 計 1,064	32日
全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」参加 コーナー展示「武者小路実篤と関東大震災」前期	平成31年2月2日(土)～3月10日(日)		32日
春季展「鉛筆の表現」～スケッチと水彩画を中心に～	平成31年3月16日(土)～4月21日(日)	大人 425 子ども 69 計 494	14日 (3月分のみ)
全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」参加 コーナー展示「武者小路実篤と関東大震災」後期	平成31年3月16日(土)～4月21日(日)		14日 (3月分のみ)

天皇陛下御在位三十年記念慶祝事業の一環として無料公開実施(平成31年2月24日)

(2) 普及事業

ア 講演会・講座等事業

事業名	講師	開催日	会場	参加者(人)
春季展「筆の向くまま」～実篤の自筆原稿～ マニアッククイズ 設置		平成30年3月17日(土)～4月22日(日)	実篤記念館	※入場者自由参加
展示解説 春季展「筆の向くまま」～実篤の自筆原稿～	財団職員	4月13日(金)	実篤記念館	11
実篤に挑戦！筆と墨で絵をかこう(春)		4月14日(土)・15日(日)	実篤記念館	59 (内、子ども28)
展示解説 春の特別展「誰でも画はかける」～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～	財団職員	5月11日(金)・19日(土)	実篤記念館	57
初夏の自然観察会	富田広氏(自然観察指導者)	5月12日(土)	実篤公園・周辺緑地	12
講演会「小池邦夫が伝える武者小路実篤の魅力」	小池邦夫氏(日本絵手紙協会創立者)	5月23日(水)	たづくり大会議場	180
作ってみよう！梅ジャム	財団職員	6月9日(土)	実篤記念館・東部公民館	※中止(梅の実不作のため)
展示解説 企画展「家族の肖像」	財団職員	6月23日(土)・7月13日(金)	実篤記念館	12
展示解説 夏休み企画「武者小路実篤入門」	財団職員	7月27日(金)・8月18日(土)	実篤記念館	17
実篤に挑戦！筆と墨で絵をかこう(夏)	財団職員	7月28日(土)	実篤記念館	※中止(台風12号の影響)
《特別編》実篤に挑戦！うちわに筆と墨で絵をかこう	菱沼陽士女氏(絵画講師)	7月29日(日)	実篤記念館	18 (内、子ども7)
夏休み自由研究サポート(ぬりえ・手のひら記念館・実篤ジグソー・調べ学習・拓本・シュロの葉バッタ・鑑賞パズル)	財団職員・ボランティア・中学生ボランティア	7月21日(土)～8月26日(日)	実篤記念館	192 (延べ572件)
親子講座「お気に入りの植物ずかんを作ろう！」	富田広氏(自然観察指導者)	8月11日(土・祝)	実篤公園・実篤記念館	27
作ってみよう！私だけの本	田尾明敏氏(NPO法人美術研究センター理事)／岡野暢夫氏(製本工房リーブル)	8月4日(土)・5日(日)・9日(木)	実篤記念館・東部公民館	15
多摩川流域自治体交流イベントラリー		7月21日(土)～9月2日(日)	実篤記念館	1,123

展示解説 秋季展「書の世界」 愛蔵品と作品から	財団職員	9月9日(日)・21 日(金)	実篤記念館	10
展示解説 新しき村創立100周年記 念特別展「新しき村の100年」	財団職員	10月25日(木)・ 11月11日(日)	実篤記念館	47
ギャラリートーク 移動展「新しき村美術展」	財団職員	11月11日(日)・ 29日(木)	たづくり 展示室	29
記録映像「新しき村の100年」 上映会と新しき村の生活を語る	寺島洋氏(一般財 団法人新しき村 理事長),小島真 樹氏(新しき村会 員)	11月14日(水)	たづくり 大会議場	59
インタビュー映像を見る会 第1回	財団職員	11月22日(木)	たづくり 1002学習室	24
「新しき村の100年」×「新しき村 美術展」スタンプラリー		11月3日(土・祝) ～12月9日(日)	実篤記念館 ・たづくり展 示室	308
新しき村産物プレゼント応募 ※スタンプラリー参加者に応募券 配布。抽選で20人当選。		11月3日(土・祝) ～12月9日(日)	実篤記念館 ・たづくり展 示室	282
「あなたにおすすめの実篤作品 診断」設置		11月28日(水) 開始	実篤記念館	※休憩コーナー に設置。入場者 自由参加
文学講座「新しき村100年と武者小 路実篤」	瀧田浩氏(二松学 舎大学教授)	12月2日(日)	たづくり 1102学習室	16
インタビュー映像を見る会 第2回	財団職員	12月6日(木)	実篤記念館	12
展示解説 企画展「実篤の足跡」 ～旅と転居の記録から～	財団職員	12月22日(土)・ 平成31年1月11 日(金)	実篤記念館	9
企画展「自筆原稿から見えること」 マニアッククイズ 設置		平成31年2月2日 (土)～3月10日 (日)	実篤記念館	※入場者 自由参加
製本講座(中級編) 第1回	岡野暢夫氏(製本 工房リーブル)	平成31年2月7日 (木)	東部公民館	14
製本講座(中級編) 第2回	岡野暢夫氏(製本 工房リーブル)	平成31年2月14 日(木)	東部公民館	15
展示解説 企画展「自筆原稿から 見えること」	財団職員	平成31年2月8日 (金)・3月2日 (土)	実篤記念館	11
春季展「鉛筆の表現～」スケッチと 水彩画を中心に～ 鑑賞アイテム「スケッチブックのな		平成31年3月16日 (土)～4月21日 (日)	実篤記念館	※展示室に設 置。入場者自由 参加

「か見られます」設置				
工作講座「作ってみよう！植物で布を染める」	松田研二氏(自然遊びの先生)	平成31年3月24日(日)	実篤公園・東部公民館	13
展示解説 春季展「鉛筆の表現」～スケッチと水彩画を中心に～	財団職員	平成31年3月29日(金)	実篤記念館	7
団体解説(予約制)	財団職員		実篤記念館	316 (年間18回)

イ 学校教育との連携事業

(ア) 学校教育

事業名	開催日	会場	連携・協力団体	参加者(人)
公園散策	平成30年4月25日(水)	実篤公園	調布市立若葉小学校3年生	121
公園散策	4月27日(金)・30日(月・休)	実篤公園	桐朋女子高等学校音楽科	35
公園散策	5月10日(木)	実篤公園	桐朋小学校	20
公園散策	5月30日(水)・31日(木)	実篤公園	桐朋小学校3年西組・東組	77
公園写生	6月1日(金)・8日(金)・14日(木)	実篤公園	調布市立若葉小学校5年生	112
地域調べ	6月7日(木)	実篤公園・記念館中庭	調布市立若葉小学校2年生	26
公園自然観察	6月21日(木)	実篤公園	調布市立滝坂小学校1年生	66
地域学習ゲストティーチャー授業	6月23日(土)	若葉小学校	調布市立若葉小学校3年生 (講師:財団職員)	20
職場体験	6月26日(火)～29日(金)	実篤記念館	調布市立第四中学校2年生	2
夏休み事業案内チラシ表紙イラスト作成	6月		調布市立第六中学校美術部	
公園散策	7月8日(日)	実篤公園	首都大学東京	15
地域見学	7月11日(水)	実篤公園・実篤記念館	東京都立神代高等学校定時制	45
先生のための見学プログラム	7月21日(土)～8月26日(日)	実篤記念館		
中学生ボランティア	7月29日(日)・8月7日(火)・14日(火)	実篤記念館	調布市立第四中学校2・3年生	8
実篤公園写生作品展示	8月7日(火)～9月2日(日)	実篤記念館	調布市立若葉小学校5年生・ 図工教師 ※展示作業は学芸員実習の一環として実施	15
職場体験	9月11日(火)～14日(金)	実篤記念館	調布市立神代中学校2年生	3

地域調べ	9月14日(金)	実篤記念館	調布市立第七中学校1年生	4
公園散策	9月20日(木)	実篤公園	桐朋小学校5・6年生	19
記念館見学・ 公園散策	9月27日(木)	実篤記念館	桐朋女子高等学校	18
記念館見学 (美術鑑賞教育)	10月2日(火)・3日 (水)・4日(木)	実篤記念館	調布市立若葉小学校4年生	110
公園散策 (どんぐり拾い)	10月12日(金)	実篤公園	ニューワールドインターナ ショナルスクール	50
公園散策 (どんぐり拾い)	10月24日(水)	実篤公園	調布市立滝坂小学校1年生	66
公園散策	10月26日(金)	実篤公園	桐朋女子高等学校2年生	30
校内パネル展示	平成30年11月6日(火) ～平成31年2月8日(金)	第八中学校 図書室	調布市立第八中学校	
校内パネル展示	平成30年12月5日(水) ～平成31年1月17日 (木)	第六中学校 図書室	調布市立第六中学校	
公園散策	12月7日(金)	実篤公園	桐朋女子高等学校	15
公園散策	平成31年2月19日(火)	実篤公園	調布市立滝坂小学校1年生	64
校内パネル展示	平成31年2月27日(水) ～3月20日(水)	第四中学校 図書室	調布市立第四中学校	
卒業年次生のため の武者小路実篤講 座・見学	平成31年3月7日(木)	第四中学校 多目的室・ 実篤記念館・ 実篤公園	調布市立第四中学校	125
吹奏楽部の演奏と 茶道部による野点 を楽しむ会 吹奏楽部演奏	平成31年3月21日(木・ 祝)	実篤記念館	調布市立第四中学校	部員29 教員2 一般参加者34
吹奏楽部の演奏と 茶道部による野点 を楽しむ会 茶道部野点	平成31年3月21日(木・ 祝)	実篤記念館	調布市立第四中学校	部員7 教員1 講師3 一般参加者13
学校向け展示パネ ル制作(新規3枚)	平成31年3月31日(日)			

(4) 実習生受入

事業名	開催日	会場	受入人数(人)
学芸員実習	平成30年8月4日(土)～11日(土・祝) (実習期間7日間)	実篤記念館	3
中学校教員社会体験研修 (中堅教諭資質向上研修Ⅰ)	8月3日(金)・8日(水)・9日(木) (3日間)	実篤記念館	1

(ウ) 講師派遣

事業名	講師	開催日	会場	参加者(人)
三鷹市市民大学 むらさき学苑 社会見学	財団職員	平成30年6月19 日(火)	実篤公園・ 実篤記念館	107
埼玉文学講座「文学館関係者が語る 作家の魅力」	財団職員	9月20日(木)	さいたま文学館	109
東部公民館芸術鑑賞講座「ムンク展－共 鳴する魂の叫び」を深く楽しむ」 第一回「ムンクを日本に紹介した武者小 路実篤と白樺派」	財団職員	11月27日(火)	東部公民館	36
西部公民館 高齢者学級「チャレンジクラ ブ未来」 武者小路実篤に関する展示解説、庭園・ 旧実篤邸解説、見学	財団職員	12月6日(木)	実篤記念館	14

ウ ボランティア事業

ボランティア登録者 25人 (平成31年3月31日現在)

* 4月登録26人, 2月末日登録辞退1人

活動内容		実施回数 (回)	活動者 (人)	備考
ガイドグループ (ボランティアガイド)		35	104	利用者 248組 609人
普及事業グループ	掲示作業	7	23	
	開催事業補助	14	42	
	朗読	3	6	利用者 40人
環境整備グループ	植物手入れ	17	51	
	開架図書整理	3	13	
	防虫対策	4	13	
	清掃・見回り	2	3	
他館図録PC入力作業		18	18	入力件数 122件
その他 (総会, 連絡会, 発送作業, ステップアップ講 座, 留守番電話メッセージ録音)		15	88	

エ 友の会事業

平成30年度友の会会員数71人 (賛助会員: 11人, 一般会員: 60人)

平成31年3月31日現在

事業内容	内容	発行
友の会ニュース発行	事業や実篤関連情報を提供	年6回 (隔月発行) 170~175号

オ 広報事業

(ア) 広報資料の作成・配布

事業内容	対象	件数
調布市広報課提出（市報原稿, 市ツイッター, 市フェイスブック）	一般	202件
ツイッター独自アカウント *平成29年7月より試験運用	一般	896件
広報リリース作成, 情報提供	新聞社, テレビ局, インターネット情報サイト	95件
取材対応	新聞社, テレビ局, 出版社, インターネット情報サイト	75件
撮影支援事業対応（調布フィルムコミッション）		2件 (キャンセル2件)
事業広報用簡易ポスター作成, 掲示	一般	58件
事業広報用簡易チラシ作成, 配布	一般	7件
夏休み行事案内チラシ作成, 配布	市内幼稚園児, 保育園児, 小・中学生（※内, 調布市立小・中学校は全児童・生徒配布）	1件 (18, 500枚)
夏休み行事案内ポスター作成, 掲示	市内幼稚園児, 保育園児, 小・中学生 (※内, 調布市立小・中学校全児童・生徒は配布)	1件
博学連携プログラム案内チラシ作成, 配布	市内幼稚園, 保育園, 小・中学校教職員	1件 (1, 300枚)
調布市武者小路実篤記念館主催 新しき村100周年記念事業案内チラシ	一般	1件
新しき村創立100周年記念特別展「新しき村の100年」ポスター	一般	1件
移動展「新しき村美術展」ポスター・チラシ作成（調布市文化・コミュニティ文化財団と共催）	一般	1件
「朗読ワークショップ」簡易チラシ発送	一般	40件
春の特別展「実篤がみた女性たち」ポスター・チラシ作成	一般	1件
ホームページ（毎月更新・臨時更新）	一般	23回
発行物発送（展覧会日程・館報・特別展ポスター・チラシ）	一般, 関係者, 関係機関, 都庁交換, 市内交換ほか	2, 474件

(イ) 印刷物編集・刊行事業

資料名	種別	対象	発行	部数	備考
特別展「誰でも画はかける」 ～小池邦夫がえらぶ武者小路実篤の書画～ パンフレット	図録	一般	平成30年4月	2, 000部	24頁 有料頒布 426 円(税別)

解説シート「もっと知りたい 武者小路実篤」No. 58～60	解説シート	一般	7月	各5,000部	無料配布
館報『美愛真』第35号	館報	一般	9月	3,000部	無料配布
新しき村創立100周年記念特別展 「新しき村の100年」 パンフレット	図録	一般	10月	1,500部	112頁 有料頒布 1,000円(税別)
館報『美愛真』第36号	館報	一般	平成31年3月	3,000部	無料配布
平成31年度展示案内	展示日程	一般	3月	20,000部	無料配布

(ウ) ホームページ

活動内容	対象	件数等
ホームページ(毎月更新・臨時更新) 事業予定, 所蔵品データベース, キッズコーナー, 資料データ, 財団情報公開, 季節の実篤公園	一般	23回 年間アクセス数 3,038,538件

(エ) ぐるっとパス事業

事業名	内容	件数等
ぐるっとパス2018広報	ぐるっとパス2018年ポスター・チラシへの情報の提供 と, 参加館や公共交通機関等で掲示・配布	年間2件
	ぐるっとパスブログ掲載情報提供	毎月1回
	新聞, WEB, 交通広告等での広告掲載	年間15件
	新聞, 雑誌, テレビ, WEB等での取材	年間12件
ぐるっとパス2018利用者	ぐるっとパス2018年の利用者数	644人
ぐるっとパス2018販売数	ぐるっとパス2018年の窓口販売数	10件
ぐるっとパス2018引き換え数	ぐるっとパス2018年の窓口引き換え数	3件

(オ) 視察

視察者	実施日	目的	件数等
関東市議会議長会新旧正副会長会議	平成30年5月16日 (水)	新会長市(調布市)市内視察	17人
こおりやま文学の森資料館	11月15日(木)	オンラインゲーム「文豪とアルケミ スト」とのコラボ視察, 所蔵実篤資 料に関する資料調査	1人
福島県立美術館	11月16日(金)	特別展「関根正二展」(2019年開催 予定)に伴う河野通勢デッサンに関 する資料確認	1人

(3) 資料収集・管理事業

ア 資料収集

資料区分	寄贈 (点)	購入 (点)	寄託 (点)	合計 (点)
美術品	9	0	0	9
図書・逐次刊行物	146	152	0	298
関連作品・資料	0	0	0	0
原稿	1	0	0	1
書簡	12	0	0	12
写真	6	0	0	6
映像資料	0	※1	0	1
その他資料	0	2	0	2
(総計)	174	155	0	329

※平成31年3月31日現在の収蔵品点数 62,297点

※映像制作「新しき村の100年」(28分) 平成30年11月

イ 資料管理

種別	件数	点数	主な利用内容	期間
作品・資料 貸出	2件	8点	国立映画アーカイブ「生誕100年 映画美術監督木村威夫」 (会期:10月16日～平成31年1月27日)計6点(木村荘八「映画「或る女」デッサン 6点」)	期間:平成30年9月25日～平成31年1月31日
			薩摩川内市川内まごころ文学館 特別企画展「有島武展 偉大なる父の物語 (会期:10月23日～12月2日)計2点(有島武より有島武郎あて書簡 2通)	期間:平成30年10月11日～12月8日
作品・資料 返却	3件	10点	アーツ前橋「横堀角次郎とその仲間たち」(会期:3月17日～5月29日)計2点(河野通勢「風景」「自画像」)	期間:平成30年2月28日～6月8日
			薩摩川内市川内まごころ文学館 特別企画展「有島武展 偉大なる父の物語 (会期:10月23日～12月2日)計2点(有島武より有島武郎あて書簡 2通)	期間:平成30年10月11日～12月8日
			国立映画アーカイブ「生誕100年 映画美術監督木村威夫」 (会期:平成30年10月16日～平成31年1月27日)計6点(木村荘八「映画「或る女」デッサン」6点)	期間:平成30年9月25日～平成31年1月31日
写真資料 貸出	36件	116点	日経BP『日経おとなのOFF』特別付録万年筆デザイン ゴッホ「向日葵」1点, NHKエデュケーショナル「日曜美術館」実篤肖像写真 2点, 山本品 『ソロー研究論集』論文用 白樺同人新年会写真 1点, 学校卒業論文 個人 5点, テレビ東京「よじごじDays」実篤肖像写真 1点, テレビ東京「開運!なんでも鑑定団」『白樺』表紙 1点, 教育出版『中学校国語通信 道標』実篤書画 3点, ニューア	

			<p>ト社 戸建案内ツール 館外観 1点, 日本絵手紙協会『月刊絵手紙』 実篤書 1点, 藤樹社『月刊書道界』 実篤書・愛蔵品 2点, 東京都公園協会『緑と水のひろば』 実篤書・写真・旧邸・公園・記念館 6点, 大塚国際美術館 ゴッホ「向日葵」 1点, TBSテレビ「東大王」 写真 1点, 川内まごころ文学館 特別展「有島武」 図録 有島武書簡 2点, 国立映画アーカイブ 特別展「映画監督木村威夫」 展示パネル 木村荘八デッサン 1点, ハヴァフォード大学 写真 2点, せんがわ劇場「10周年誌」 記念館外観 写真 1点, えんれいしゃ「tetote」 公園紅葉写真 1点, 東京新聞 特別展「新しき村の100年」 記事 写真 5点, 共同通信社 特別展「新しき村の100年」 記事 写真 3点, 読売新聞 特別展「新しき村の100年」 記事 写真 3点, イギリス・テートギャラリー ゴッホ「ひまわり」 1点, J:COM 「テレビ広報調布」 美術品 2点・原稿 3点・書簡 2点・図書雑誌 6点・写真 24点, 東京新聞さいたま支局 新しき村100周年記事 埼玉の新しき村関連写真1点/2回, 計2点, 読売新聞武蔵野支局 特別展「新しき村の100年」 記事 新しき村関連写真 3点, 鉾脈社 南邦和著『《新しき村》100年』 写真 9点, 産報 2019年カレンダーに使用 旧実篤邸 1点, White Lion Publishing Martyn Bailey『Living with Vincent Van Gogh』 ゴッホ「ひまわり」 1点, 日本絵手紙協会『月刊絵手紙』 1月号 「或る青年の夢」 原稿1点, 有限会社アルシノーバ『ケイタイ・サブウェブマガジン』 実篤記念館内外観 5点, タビックスジャパン 旅行チラシ 旧実篤邸 2点, 求龍堂『川端康成と書文人たちの墨跡』 実篤肖像ほか写真 2点・『白樺』創刊号表紙ほか図書雑誌 3点, 日本テレビ「シューイチ」 実篤肖像 1点, 鎌倉文学館 年間スケジュールパンフレット 書簡 2点, 日本絵手紙協会『月刊絵手紙』 実篤素描 1点, 日本絵手紙協会『月刊絵手紙』 実篤肖像 1点</p>
特別撮影	0件	0点	

(4) 資料整理・保存事業

ア 整理・保存

作業区分	内容	作業件数	備考
温湿度管理	温湿度計チェック (数値確認)	毎日	地下書庫2台, フィルム収蔵庫1台, 地下収蔵庫前室1台, 二階収蔵庫2台, 二階展示準備室1台, 展示室5台, 小展示コーナー1台, 閲覧室1台, 休憩コーナー1台
	温湿度計データ吸い上げ (展示替え時)	8回	展示室4台, 小展示コーナー1台, 二階収蔵庫2台, フィルム収蔵庫1台

加湿器	加湿器清掃	5回	加湿器のべ11台 (4月4台, 8月1台, 12月2台, 3月2回4台)
加湿器タンク給水	加湿器タンク給水	毎日 (4月～5月, 9月～3月)	加湿器最大5台 (展示室, 小展示コーナー, 地下書庫)
除湿器タンク排水	除湿器タンク排水	毎日 (4月～12月)	除湿器最大7台 (展示室, 地下書庫)
ケース清掃	クロス拭き	毎日	
ケース清掃用クロス洗濯	クロス洗濯	48回	
結露除去		適宜	12月～2月
図書・逐次刊行物資料 現物確認	データベースの配架欄と 現物の配架場所の照合	2,915件	
図書保存箱作成	図書用中性紙保存箱作成	101点	
図書保存箱作成作業	図書用中性紙保存箱ラベル 校正	101点	
額分類シール貼付	ガラス・アクリル・保護板 なしを可視化	50点	※学芸員実習の一環として実施

イ 所蔵作品・資料等の修復, 複製制作等

作業区分	内容	作業件数	備考
雑誌合本 製本	『新しき村』平成21～29年分合本製本	雑誌108点 (9分冊)	完了: 平成30年5月
作品・資料 撮影	特別展「新しき村の100年」関連作品・資料	美術品・原稿等 117点	完了:8月
	特別展「実篤がみた女性たち」関連作品・資料および新収 藏品	美術品・原稿等 79点	完了: 平成31年3月
修復	所蔵作品修復(武者小路実篤 油彩「安子夫人像」「裸婦像」, 淡彩「薔薇 花ありて」)	書画3点	完了: 平成31年3月
	額UVカットアクリル入れ替え(武者小路実篤 油彩「蔬 菜図(最後の油絵)」「籠のある静物」「辰子像」「伊豆長岡 より見た富士」)	書画4点	完了: 平成31年3月
	額UVカットアクリル入れ替え, 中性紙差し箱作成(武者小 路実篤 油彩「孫像」)	書画1点	完了: 平成31年3月
	マット作成, 中性紙差し箱作成 1点(岸田劉生 スケッチ 「河野通勢像」)	書画1点	完了: 平成31年3月
資料複製	個人所蔵・寄託資料 武者小路実篤原稿「神の国」「人間 的社会」「理想的社会」(新しき村関係雑誌掲載作品)	原稿3点	完了: 平成31年3月

ウ 収蔵品データベースの充実

作業区分	内容	作業件数
収蔵品データベース データ整備	収蔵品データベース(データの追加, 修正作業)	資料886件 (新規258件/遡及入力333件 /修正293件/重複削除2件)
収蔵品データベース登録件数	平成31年3月末データベース登録件数	40,896件
画像デジタイズ	画像デジタイズ作業	300件
収蔵品データベース利用件数	平成30年度データベース利用件数	4,578,088件

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

ア 閲覧サービス事業

(ア) 一般閲覧

月	開室日数	利用者数(人)			レファレンス受付件数(件)		
		室利用者	情報提供システム	収蔵品検索システム	カウンター受付	電話, Eメール等受付	小計
4月	23	392	163	12	82	20	102
5月	21	616	306	7	186	26	212
6月	23	459	163	10	133	15	148
7月	22	184	39 ※	3	48	13	61
8月	21	261	※	6	58	18	76
9月	22	270	117	10	75	16	91
10月	24	297	120	5	95	19	114
11月	20	553	171	97	97	23	120
12月	20	344	89	7	83	6	89
1月	21	284	111	6	77	16	93
2月	19	254	92	9	52	11	63
3月	24	326	128	11	69	15	84
計	260	4,240	1,499	183	1,055	198	1,253
前年	250	5,037	1,540	193	950	247	1,197

※夏休み企画期間中の平成30年7月21日～8月26日は、情報提供システムを展示室へ移設したためカウント不能

(イ) 特別閲覧

閲覧件数	調査目的	日時	内容
1件(1回)	研究	平成30年5月 17日(木)	郡虎彦『KANAWA THE INCANTATION』 1点
1件(1回)	資料調査	6月6日(水)	河野通勢資料(スケッチ帖, 日記, 装幀挿絵下図ほか)8点 ※朝霞市博物館 平林寺関連

1件(1回)	研究	6月8日(金)	木村荘八デッサン7点 ※国立映画アーカイブ 企画展「映画美術監督 木村威夫」関連
1件(1回)	研究	平成31年1月9日(水)	河野通勢素描9点 ※福島県立美術館・三重県立美術館・神奈川近代美術館葉山 企画展「生誕120年/没後100年 関根正二展」関連

イ 情報公開事業

事業区分	事業内容	実施時期
情報提供システムの運用	コンテンツの充実, 機器の保守管理, 運用促進	随時

(6) 調査・研究事業

調査名	調査内容	調査場所	点数等
平成30年度春の特別展 「誰でも画はかける」資料調査	実篤より家族あて書簡	実篤記念館	50点
平成30年度秋の特別展 「新しき村の100年」 資料調査	新しき村年表原稿7点, 図書6冊, 逐次刊行物100冊	実篤記念館	113点
	新しき村反響文献調査 図書・逐次刊行物記事検索		556件
	記録写真閲覧, 選択 (モノクロ2,300点, カラーポズ360点)		2,660点
	実篤原稿19点, 他著者1点, 実篤油彩画4点, 実篤自筆資料1点, 他著者自筆資料1点, 新しき村会員書簡44点, 実篤油彩画1点, 実篤拓本1点, 新しき村会員美術作品8点, 新しき村関連記事切り抜き17点, 新しき村関連印刷物55点, 遺品その他2点, 逐次刊行物28点, 図書17点	神奈川近代文学館	199点
	実篤書簡2点, 新しき村会員書簡15点, 実篤デッサン2点, 切り抜き2点, 新しき村関連文書1点, 逐次刊行物9点	日本近代文学館	31点
新しき村関係 データ作製	年表, 人口統計, 収入推移	実篤記念館	3件
	新しき村記事リスト作成(宮崎県調査)	実篤記念館	189件
新しき村(埼玉) 現状調査	平成30年6月7日(木) 記録映像撮影打ち合わせ, 武者小路実篤書簡所蔵確認	新しき村(埼玉)	
	6月21日(木) 記録映像撮影		
	8月16日(木) 特別展図録掲載資料撮影, 現状調査		

	9月6日(木) 記録映像撮影打ち合わせ, 武者小路実篤書簡所蔵確認, 図書調査		
	9月16日(日) 記録映像撮影		
平成30年度秋の特別展「新しき村の100年」および移動展「新しき村美術展」作品調査	実篤および新しき村会員美術作品: 軸装5点, 額装28点, 折帖1点, 屏風1点, 卷子1点, 素描1点, 陶器2点	新しき村美術館(埼玉)	39点
映像「新しき村の100年」制作	構成台本作成		
企画展「家族の肖像」資料調査	原稿10点, 家族関連書簡30点, 実篤油彩画10点, 武者小路家祖先関連書5点	実篤記念館	55点
夏休み企画「武者小路実篤入門」資料調査	実篤油彩画8点, 実篤淡彩画12点, ゴヤエッチング3点, 実篤原稿7点, 新しき村会員油彩画1点, 映画関係広報資料7点, 実篤愛用品10点, 図書資料15点, 実篤著書20点, 写真パネル30点	実篤記念館	113点
秋季展「書の世界 愛蔵品と作品から」作品調査	実篤書画作品: 軸装10点, 額装10点, 扇・短冊など小品20点, 逐次刊行物「この道」「心」挿絵216冊	実篤記念館	256点
貸出予定作品状態調査	木村狂八スケッチ	実篤記念館	8点
	有島武より有島武郎あて書簡		2点
企画展「実篤の足跡 旅と転居の記録から」資料調査	図書20点, 書簡40点, 書画20件, 原稿3件, スケッチブック3件	実篤記念館	86点
企画展「自筆原稿から見えること」資料調査	逐次刊行物10件, 美術品(河野エッチング)3件, 原稿44件(草稿含む), 逐次刊行物10件, 美術品3件, 書簡5件	実篤記念館	75件
春季展「鉛筆の表現」資料調査	スケッチブック77件, 調査用写真撮影2,108件, 鉛筆による資料リスト作成180件, スケッチブック実篤自筆調査2,108件, スケッチブック実篤自筆リスト作成77件, 実篤素描資料写真撮影・調査323件	実篤記念館	4,873件
平成31年度春の特別展「実篤がみた女性たち」資料調査	美術品4件, 原稿2タイトル, 新聞1件	日本近代文学館	7件
	書簡6件, 美術品9件, 原稿2件, 切抜14件	神奈川近代文学館	31件
	美術品1件, 原稿1件	鎌倉文学館	2件
	逐次刊行物50件, 図書28件, 書簡14件, 原稿27点	実篤記念館	119件
平成31年度「友情」100年コーナー展示資料リスト作成	実篤記念館所蔵160件, 日本近代文学館所蔵2件, 神奈川近代文学館所蔵19件, 東京芸術大学美術館所蔵1件	実篤記念館	182件

全国文学館協議会共同展 示「3.11 文学館からのメ ッセージ」 資料調査	図書6点, 地図1点	実篤記念館	7点
	復興記念館データベース写真検索195件	復興記念館	195件
	公益財団法人東京都慰霊協会所蔵 関東大震災写真データ3件		3件
映画資料調査	武者小路実篤原作映画資料	国立映画アーカイブ	96件
		羽島市映画資料館	1点
		実篤記念館	175件
		松永文庫(山口県)	8点
		神戸映画資料館(問い合わせ) *該当作品なし	1件
	武者小路実篤周辺人物映画資料所蔵調査	国立映画アーカイブ	5件
	ノンフィルム資料(パンフレット・チラシ 等)22点	松永文庫(北九州市)	22点
関連施設視察		岡山県倉敷市:大原美術館, 倉敷民藝館, 大原家住宅/山口県山口市:中原中也記念館	4件
長與善郎関連資料リスト 作成 (長與家より借用)	長與善郎原稿119点, 美術品59点, 書簡4点, 他筆資料15点, 長與善郎作品発表資料(掲載誌, ゲラ・切り抜き等)213点, 執筆資料(印刷物・切り抜き等)32点, 愛用品(硯・落款)2件, 史料(芸術院関係)1点, その他3点	実篤記念館	448件
	長與善郎宛書簡		149点
	長與家旧蔵未確認資料(書簡59点, 日記14点, 書画8件, 写真2点, その他22点)		105点
書簡翻刻	長與善郎宛て書簡(長與家より借用)	実篤記念館	34件

(7) 自主事業

ア 物品販売事業

事業内容	制作時期	制作数	備考
透明しおり6種(増刷)	平成30年6月	計6,000枚	
メモ帳 表紙新デザイン	8月	1,000冊	
新しき村創立100周年記念クリアファイル 新規制作	8月	1,500枚	
手拭ハンカチ(新色2種)	10月	296枚	市政功労表彰記念品ほか
手拭(新色1種)	10月	60枚	

定番チョコレート 新規制作	10月	1,200個	野菜図「君は君」デザイン
オンラインゲーム「文豪とアルケミスト」タイアップ企画 しおり(3枚組) 新規制作	10月	1,000個	
オンラインゲーム「文豪とアルケミスト」タイアップ企画 飴 新規制作	10月	1,000個	
トートバック(濃紺) 新規制作	12月	100枚	
限定チョコレート 新規制作	12月	3,000個	バラ「天に星」デザイン
複製色紙「この道」「愛用の机」新規制作	平成31年3月	計600枚	
ミュージアムショップリニューアル	平成30年12月	陳列棚2台 移動台1台	

イ 自主事業

事業名	講師・出演	開催日	会場	参加者(人)
観梅のつどい 第一部 コンサート	桐朋学園大学音楽学部学生	平成31年2月 23日(土)	実篤記念館	61
観梅のつどい 第二部 ミニ講座「登録有形文化財登録記念 “仙川の家” の魅力」	財団職員	平成31年2月 23日(土)	東部公民館	10
公開ワークショップ「朗読で感じる実篤」	河崎早春氏(朗読家・俳優)	平成31年3月 1日(金)	せんがわ劇場	ワークショップ 参加 14 鑑賞 22
吹奏楽部の演奏と茶道部による野点を楽しむ会 吹奏楽部演奏	調布市立第四中学校 吹奏楽部	平成31年3月 21日(木・祝)	実篤記念館	調布市立第四中学校吹奏楽部員 29 教員 2 一般参加者 34
吹奏楽部の演奏と茶道部による野点を楽しむ会 茶道部野点	調布市立第四中学校 茶道部	平成31年3月 21日(木・祝)	実篤記念館	調布市立第四中学校茶道部員 7 教員 1 講師 3 一般参加者 13

ウ 広告

事業名	場所	期間	件数
案内広告の掲示	仙川駅改札出口 ナビタ	平成30年8月31日(金)～平成31年3月31日(日)	1件

(8) 施設管理運営事業

ア 実篤記念館施設管理運営

事業名	期間	利用者数等	備考
実篤記念館施設管理運営業務	平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)	利用者総数 9,895人	開館日数 308日

イ 実篤公園日常管理

事業名	期間	利用者数等	備考
実篤公園日常管理業務	平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)	利用者総数 28,489人	開園日数 307日
旧実篤邸公開業務	平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)	利用者総数 4,109人	公開日数 106日

3 平成30年度 調布市武者小路実篤記念館利用状況

実篤記念館利用者数（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

記念館開館日数 308日
 公園開園日数 307日
 旧邸公開日数 106日

月	記念館(人)											公園(人)			合計	旧邸公開日(人)	
	大人						子ども					小計	大人	子ども			小計
	有料一般	有料割引	65才以上	その他	ぐるっとバス	計	有料一般	有料割引	その他	計							
4	475	32	33	92	40	672	31	0	37	68	740	2,450	943	3,393	4,133	434	
6	921	11	69	189	88	1,278	9	0	25	34	1,312	2,652	895	3,547	4,859	563	
6	478	88	65	148	63	842	14	2	64	80	922	1,672	923	2,595	3,517	319	
小計	1,874	131	167	429	191	2,792	54	2	126	182	2,974	6,774	2,761	9,535	12,609	1,316	
7	263	14	27	120	52	476	51	0	34	85	561	999	367	1,366	1,927	178	
8	411	5	19	99	49	583	121	0	99	220	803	964	383	1,347	2,150	235	
9	347	27	28	110	49	561	9	2	34	45	606	1,207	274	1,481	2,087	223	
小計	1,021	46	74	329	150	1,620	181	2	167	350	1,970	3,170	1,024	4,194	6,164	642	
10	366	61	41	109	54	631	5	0	119	124	755	1,717	650	2,367	3,122	322	
11	883	7	73	167	85	1,215	14	0	26	40	1,255	2,452	756	3,208	4,463	559	
12	430	26	59	106	49	670	10	0	15	25	695	1,521	445	1,966	2,661	309	
小計	1,679	94	173	382	188	2,516	29	0	160	189	2,705	5,690	1,851	7,541	10,246	1,190	
1	398	11	48	112	35	604	13	0	23	36	640	1,705	578	2,283	2,923	278	
2	354	12	59	202	32	659	12	0	35	47	706	1,593	529	2,122	2,828	287	
3	448	29	70	96	48	691	16	0	193	209	900	2,097	717	2,814	3,714	396	
小計	1,200	52	177	410	115	1,954	41	0	251	292	2,246	5,395	1,824	7,219	9,465	961	
合計	6,774	323	591	1,550	644	8,882	305	4	704	1,013	9,895	21,029	7,460	28,489	38,384	4,109	
前年度合計	7,495	326	442	1,434	677	10,374	344	6	509	859	11,233	22,744	7,143	29,887	41,120	5,027	
増減	△ 1,721	△ 3	149	116	△ 33	△ 1,492	△ 39	△ 2	195	154	△ 1,338	△ 1,715	317	△ 1,398	△ 2,736	△ 918	
前年度比(%)	△ 23.0	△ 0.9	33.7	8.1	△ 4.9	△ 14.4	△ 11.3	△ 33.3	38.3	17.9	△ 11.9	△ 7.5	4.4	△ 4.7	△ 6.7	△ 18.3	

4 役員・会議に関する事項

(1) 役員名簿（平成31年3月31日現在）

ア 理事及び監事

役員名	氏名
理事長	武者小路 知行
常務理事	大木 正勝
理事	柏原 公毅
理事	岩本 宏樹
理事	安本 登喜子
理事	濱嶋 稔
監事	新井 七吾
監事	源後 哲郎

イ 評議員

氏名
武者小路 信和
浅井 京子
瀧田 浩
小西 聡
齋田 文雄

(2) 会議の開催

ア 理事会

開催年月日	件名	議決結果
平成30年5月2日 (水)	・平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認について	承認
	・平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書の承認について	承認
	・平成30年調布市議会第2回定例会に提出する平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について	報告
平成30年10月4日 (木)	・調布市武者小路実篤記念館指定管理者候補者選定審査に伴う「調布市武者小路実篤記念館事業計画書」について	可決
	・一般財団法人調布市武者小路実篤記念館基本計画について	報告
	・平成29年度調布市事業評価について	報告
平成31年3月28日 (木)	・新しき村創立100周年記念事業について	報告
	・平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について	承認
	・平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について	承認
	・平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について	承認

イ 評議員会

開催年月日	件名	議決結果
平成30年5月2日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業報告の承認について ・ 平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館収支決算書の承認について ・ 平成30年調布市議会第2回定例会に提出する平成29年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館の経営状況報告について 	<p>可決 承認 承認 報告</p>
平成30年10月4日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 調布市武者小路実篤記念館指定管理者候補者選定審査に伴う「調布市武者小路実篤記念館事業計画書」について ・ 一般財団法人調布市武者小路実篤記念館基本計画について ・ 平成29年度調布市事業評価について ・ 新しき村創立100周年記念事業について 	<p>可決 可決 報告 報告 報告</p>
平成31年3月28日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議事録署名人の選出について ・ 平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館補正予算第1号について ・ 平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画について ・ 平成31年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館予算について 	<p>可決 報告 報告 報告</p>

平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収支計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

1 一般会計

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	補助金等収入	86,505,000	86,505,000	0	
	1 人件費補助金収入	76,337,000	76,337,000	0	
	2 事務費補助金収入	10,168,000	10,168,000	0	
2	指定管理料収入	28,095,000	28,095,000	0	
	1 指定管理料	28,095,000	28,095,000	0	
3	受託事業収入	7,177,000	6,552,000	625,000	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	6,552,000	6,552,000	0	
	2 受託事業(展覧会受託)	625,000	0	625,000	
4	利用料金収入	1,300,000	1,764,840	△ 464,840	
	1 利用料	1,100,000	1,217,800	△ 117,800	
	2 頒布料	200,000	547,040	△ 347,040	
5	諸収入	740,000	831,364	△ 91,364	
	1 事業参加費	100,000	89,164	10,836	
	2 友の会会費	100,000	111,000	△ 11,000	
	3 雑収入	539,000	630,640	△ 91,640	
	4 利子収入	1,000	560	440	
	5 繰入金	0	0	0	
事業活動収入計(A)		123,817,000	123,748,204	68,796	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	管理費支出	86,505,000	83,200,336	3,304,664	
	1 人件費支出	76,337,000	73,689,073	2,647,927	
	職員給料	26,066,000	25,900,080	165,920	
	職員諸手当	19,362,000	18,789,347	572,653	
	嘱託報酬	9,570,000	9,405,658	164,342	
	臨時職員給料	7,489,000	7,488,810	190	
	臨時職員諸手当	420,000	266,290	153,710	
	社会保険料支出	11,143,000	9,820,116	1,322,884	
	福利厚生費	98,000	92,154	5,846	
	負担金	1,804,000	1,803,500	500	
	旅費	385,000	123,118	261,882	
	2 事務費支出	10,168,000	9,511,263	656,737	
	報酬	1,020,000	1,020,000	0	

交際費	40,000	5,400	34,600
需用費	1,156,000	1,094,247	61,753
役務費	1,909,000	1,810,753	98,247
委託料	2,340,000	2,318,760	21,240
使用料及び賃借料	2,545,000	2,487,228	57,772
負担金	351,000	141,400	209,600
資料購入費	400,000	399,993	7
公租公課	337,000	163,482	173,518
繰出金	70,000	70,000	0
2 事業費支出	16,899,000	16,294,518	604,482
1 普及促進事業費支出	11,527,000	11,324,053	202,947
報償費	435,000	427,000	8,000
一般需用費	3,777,000	3,747,446	29,554
役務費	2,307,000	2,234,468	72,532
委託料	4,869,000	4,860,404	8,596
使用料及び賃借料	139,000	54,735	84,265
2 資料管理事業費支出	1,666,000	1,645,298	20,702
一般需用費	639,000	637,126	1,874
役務費	15,000	972	14,028
委託料	1,012,000	1,007,200	4,800
3 情報提供システム事業費支出	3,381,000	3,325,167	55,833
一般需用費	1,000	891	109
委託料	1,400,000	1,368,360	31,640
使用料及び賃借料	1,980,000	1,955,916	24,084
4 受託事業支出	325,000	0	325,000
報償費	5,000	0	5,000
一般需用費	35,000	0	35,000
役務費	20,000	0	20,000
委託料	250,000	0	250,000
使用料及び賃借料	5,000	0	5,000
旅費	10,000	0	10,000
3 施設管理費支出	20,363,000	20,285,349	77,651
1 施設管理運営事業費	13,811,000	13,789,733	21,267
需用費	8,309,000	8,308,663	337
役務費	367,000	356,013	10,987
委託料	4,404,000	4,396,573	7,427
使用料及び賃借料	731,000	728,484	2,516
2 実篤公園管理事業費	6,552,000	6,495,616	56,384
委託料	6,552,000	6,495,616	56,384
事業活動支出計 (B)	123,767,000	119,780,203	3,986,797
事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	50,000	3,968,001	△ 3,918,001

II 投資活動収支の部

(投資活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
2	投資活動支出	0	0	0	
	投資活動収支差額 (D)	0	0	0	

III 財務活動収支の部

(財務活動支出)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
2	財務活動支出	0	3,968,001	△ 3,968,001	
	1 返還金	0	3,968,001	△ 3,968,001	
	財務活動収支差額 (E)	0	△ 3,968,001	3,968,001	

IV 予備費支出

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	予備費支出 (F)	50,000	0	50,000	
	当期収支差額 (C+D+E-F)	0	0	0	
	前期繰越収支差額	0	132,569	△ 132,569	
	次期繰越収支差額	0	132,569	△ 132,569	

2 特別会計

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	自主事業収入	8,835,000	5,679,630	3,155,370	
	1 自主事業収入	50,000	5,100	44,900	
	2 物品販売事業収入	7,000,000	5,184,922	1,815,078	
	3 諸収入	484,000	489,569	△ 5,569	
	4 利子収入	1,000	39	961	
	5 繰入金	1,300,000	0	1,300,000	
	事業活動収入計 (A)	8,835,000	5,679,630	3,155,370	

(事業活動支出)

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	自主事業費支出	8,835,000	5,364,219	3,470,781	
	1 積立金支出	10,000	0	10,000	
	2 物品販売事業費支出	7,450,000	4,864,541	2,585,459	
	消耗品費	150,000	66,037	83,963	
	商品仕入費	4,600,000	3,981,718	618,282	
	著作権使用料	250,000	249,434	566	
	役務費	150,000	87,796	62,204	
	委託料	1,780,000	274,050	1,505,950	
	広告宣伝費	120,000	48,600	71,400	
	公租公課	400,000	156,906	243,094	
	3 自主事業費	1,375,000	499,678	875,322	
	事業活動支出計 (B)	8,835,000	5,364,219	3,470,781	
	事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	0	315,411	△ 315,411	

II 投資活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
1	投資活動支出	0	1,445,688	△ 1,445,688	
	i 固定資産取得支出	0	1,445,688	△ 1,445,688	
	什器備品購入支出	0	1,445,688	△ 1,445,688	
	投資活動支出計	0	1,445,688	△ 1,445,688	
	投資活動収支差額 (D)	0	△ 1,445,688	1,445,688	

III 財務活動収支の部

(単位：円)

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
	1 財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額 (E)	0	0	0	

IV 予備費支出

科 目		予算額	決算額	差異	備考
大	中				
1	予備費支出 (F)	0	0	0	
	当期収支差額 (G) 《(C)+(D)+(E)-(F)》	0	△ 1,130,277	1,130,277	
	前期繰越収支差額 (H)	0	4,533,237	△ 4,533,237	
	次期繰越収支差額 (G+H)	0	3,402,960	△ 3,402,960	

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

事業全体

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
1 経常収益				
補助金等	86,505,000	85,255,000	1,250,000	
人件費補助金収入	76,337,000	75,134,000	1,203,000	
事務費補助金収入	10,168,000	10,121,000	47,000	
指定管理料	28,095,000	31,904,000	△ 3,809,000	
指定管理料	28,095,000	31,904,000	△ 3,809,000	
受託事業収入	6,552,000	9,882,000	△ 3,330,000	
受託事業(実篤公園日常管理)	6,552,000	6,382,000	170,000	
受託事業(展覧会受託)	0	3,500,000	△ 3,500,000	
利用料金収入	1,764,840	1,843,112	△ 78,272	
利用料	1,217,800	1,616,300	△ 398,500	
頒布料	547,040	226,812	320,228	
諸収入	831,364	420,338	411,026	
事業参加費	89,164	99,630	△ 10,466	
友の会会費	111,000	105,000	6,000	
雑収入	630,640	211,248	419,392	
利子収入	560	4,460	△ 3,900	
繰入金	0	0	0	
自主事業収入	5,879,630	7,703,633	△ 2,024,003	
自主事業収入	5,100	2,000	3,100	
物品販売事業収入	5,184,922	7,271,091	△ 2,086,169	
諸収入	489,569	430,508	59,061	
利子収入	39	34	5	
繰入金	0	0	0	
経常収益計(A)	129,427,834	137,008,083	△ 7,580,249	
2 経常費用				
管理費	83,200,336	82,317,781	882,555	
人件費	73,689,073	72,419,151	1,269,922	
職員給料	25,900,080	25,601,880	298,200	
職員諸手当	18,789,347	18,102,540	686,807	
嘱託報酬	9,405,658	9,462,966	△ 57,308	
臨時職員給料	7,488,810	7,403,690	85,120	
臨時職員諸手当	266,290	400,792	△ 134,502	
社会保険料支出	9,820,116	9,174,648	645,468	
福利厚生費	92,154	95,469	△ 3,315	
負担金	1,803,500	1,803,500	0	

旅費	123,118	373,666	△ 250,548
事務費	9,511,263	9,898,630	△ 387,367
報酬	1,020,000	1,080,000	△ 60,000
交際費	5,400	5,400	0
需用費	1,094,247	1,136,657	△ 42,410
役務費	1,810,753	1,847,265	△ 36,512
委託料	2,318,760	2,335,345	△ 16,585
使用料及び賃借料	2,487,228	2,471,650	15,578
負担金	141,400	138,200	3,200
資料購入費	399,993	399,948	45
公租公課	163,482	414,165	△ 250,683
繰出金	70,000	70,000	0
事業費	16,294,518	20,452,639	△ 4,158,121
普及促進事業費	11,324,053	11,389,859	△ 65,806
報償費	427,000	379,294	47,706
一般需用費	3,747,446	3,790,773	△ 43,327
役務費	2,234,468	2,174,982	59,486
委託料	4,860,404	4,883,830	△ 23,426
使用料及び賃借料	54,735	160,980	△ 106,245
資料管理事業費	1,645,298	1,744,313	△ 99,015
一般需用費	637,126	694,771	△ 57,645
役務費	972	3,703	△ 2,731
委託料	1,007,200	1,045,839	△ 38,639
情報提供システム事業費	3,325,167	4,251,036	△ 925,869
一般需用費	891	0	891
委託料	1,368,360	1,538,503	△ 170,143
使用料及び賃借料	1,955,916	2,712,533	△ 756,617
受託事業費（展覧会受託）	0	3,067,431	△ 3,067,431
報償費	0	5,184	△ 5,184
一般需用費	0	96,614	△ 96,614
役務費	0	2,346,486	△ 2,346,486
委託料	0	55,759	△ 55,759
使用料及び賃借料	0	274,268	△ 274,268
旅費	0	289,120	△ 289,120
施設管理費	20,285,349	21,697,719	△ 1,412,370
施設管理運営事業費	13,789,733	15,367,307	△ 1,577,574
需用費	8,308,663	8,560,329	△ 251,666
役務費	356,013	148,922	207,091
委託料	4,396,573	5,929,572	△ 1,532,999
使用料及び賃借料	728,484	728,484	0
実篤公園管理事業費	6,495,616	6,330,412	165,204
委託料	6,495,616	6,330,412	165,204
自主事業費	5,454,574	6,567,369	△ 1,112,795

積立金	0	0	0
物品販売事業費	4,954,896	5,985,030	△ 1,030,134
消耗品費	66,037	171,093	△ 105,056
商品仕入費	3,981,718	4,902,538	△ 920,820
著作権使用料	249,434	109,937	139,497
役務費	87,796	132,530	△ 44,734
委託料	274,050	99,630	174,420
広告宣伝費	48,600	96,581	△ 47,981
公租公課	156,906	472,721	△ 315,815
減価償却費	90,355	0	90,355
自主事業費	499,678	582,339	△ 82,661
経常費用計 (B)	125,234,777	131,035,508	△ 5,800,731
評価損益等調整前当期経常増減額	4,193,057	5,972,575	△ 1,779,518
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額 (C) 《 (A) - (B) 》	4,193,057	5,972,575	△ 1,779,518
2 経常外増減の部			
1 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
2 経常外費用			
その他経常外費用	0	0	0
予備費	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	4,193,057	5,972,575	△ 1,779,518
返還金	△ 3,968,001	△ 4,703,742	735,741
当期一般正味財産増減額	225,056	1,268,833	△ 1,043,777
一般正味財産期首残高	4,665,806	3,396,973	1,268,833
一般正味財産期末残高 (D)	4,890,862	4,665,806	225,056
II 指定正味財産増減の部			
1 寄付金	70,000	70,000	0
寄付金	70,000	70,000	0
当期指定正味財産増減額	70,000	70,000	0
指定正味財産期首残高	4,989,768	4,919,768	70,000
指定正味財産期末残高 (E)	5,059,768	4,989,768	70,000
III 基本金増減の部			
当期基本金増減額	0	0	0
基本金期首残高	3,000,000	3,000,000	0
基本金期末残高 (F)	3,000,000	3,000,000	0
IV 正味財産期末残高 (G) 《 (D) + (E) + (F) 》	12,950,630	12,655,574	295,056

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 資産の部				
1 流動資産				
1 現金預金	25,014,928	28,896,759	△ 3,881,831	
小口現金	74,712	74,982	△ 270	
普通預金	20,227,706	24,109,718	△ 3,882,012	
定期預金	4,712,510	4,712,059	451	
2 未収金	578,048	206,867	371,181	
3 商品	1,390,156	1,052,815	337,341	
4 仮払金	217,619	232,592	△ 14,973	
5 前払金	56,380	0	56,380	
流動資産合計	27,257,131	30,389,033	△ 3,131,902	
2 固定資産				
1 基本財産				
投資有価証券	2,995,202	2,995,202	0	
基本財産合計	2,995,202	2,995,202	0	
2 その他固定資産				
什器備品費	1,355,333	0	1,355,333	
リース資産	9,107,722	10,343,248	△ 1,235,526	
その他固定資産合計	10,463,055	10,343,248	119,807	
固定資産合計	13,458,257	13,338,450	119,807	
資産合計	40,715,388	43,727,483	△ 3,012,095	
II 負債の部				
1 流動負債				
1 未払費用	17,149,435	18,714,901	△ 1,565,466	
2 預り金	1,198,801	1,153,760	45,041	
3 未払消費税等	175,100	455,200	△ 280,100	
4 未払法人税等	133,700	404,800	△ 271,100	
5 リース債務	9,107,722	10,343,248	△ 1,235,526	
流動負債合計	27,764,758	31,071,909	△ 3,307,151	
負債合計	27,764,758	31,071,909	△ 3,307,151	
III 正味財産の部				
1 基本金				
1 基本金	3,000,000	3,000,000	0	
2 指定正味財産				

1 寄付金	5,059,768	4,989,768	70,000	
指定正味財産合計	5,059,768	4,989,768	70,000	
3 一般正味財産				
1 代替基本金	0	0	0	
2 その他一般正味財産	4,890,862	4,665,806	225,056	
一般正味財産合計	4,890,862	4,665,806	225,056	
正味財産合計	12,950,630	12,655,574	295,056	
負債及び正味財産合計	40,715,388	43,727,483	△ 3,012,095	

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目	目的等	金額	備考
I 資産の部			
1 流動資産			
1 現金預金		25,014,928	
小口現金		74,712	
普通預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	17,623,082	
	みずほ銀行調布仙川支店	2,604,624	
定期預金	三井住友銀行つつじヶ丘支店	4,712,510	
2 未収金		578,048	
3 商品		1,390,156	
4 仮払金		217,619	
5 前払金		56,380	
流動資産合計 (A)		27,257,131	
2 固定資産			
1 基本財産			
投資有価証券	SMBC日興証券(株) 大阪府公募 公債(5年) 第145回	2,995,202	
2 その他固定資産			
什器備品		1,355,333	
リース資産	業務用PC、コピー機等	9,107,722	
固定資産合計 (B)		13,458,257	
資産合計 (C) 《(A) + (B)》			40,715,388
II 負債の部			
1 流動負債			
1 未払費用		17,149,435	
	管理費支出27件	4,898,280	
	事業費支出35件	5,911,558	
	施設管理費支出18件	1,696,441	
	自主事業費支出8件	675,155	
	市への返還金	3,968,001	
2 預り金		1,198,801	
	社会保険料 2,3月分	1,125,701	
	市民税 3月分	73,100	
3 未払消費税等		175,100	
4 未払法人税等		133,700	
5 リース債務		9,107,722	
	事業用PC、コピー機等	9,107,722	
流動負債合計 (D)		27,764,758	
負債合計 (E)			27,764,758
正味財産合計 (F) 《(C) - (E)》			12,950,630

平成30年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 償却原価法によっている。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法によっている。

(4) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

監査報告書

平成31年4月25日

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館
理事長 武者小路 知行 様

一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

監事 新井 七 吾

監事 源 後 哲 郎

私たちは、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款第26条及び関連法令に基づき、平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度における業務監査及び会計監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳簿及び関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表などの適正性を確認した。
- (2) 業務監査について、理事会等に出席し、運営状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、業務執行の妥当性を確認した。

2 監査意見

- (1) 事業報告は妥当であり貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準及び関係法令並びに、一般財団法人調布市武者小路実篤記念館定款及び会計規程に従い、法人の財産及び収支の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

(注) 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当財団が別途保管しております。

令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館事業計画

1 基本方針

平成25年4月に調布市武者小路実篤記念館（以下「実篤記念館」という。）の設立理念に基づき、事業の円滑化、効率化及び継続性を図るために「一般財団法人調布市武者小路実篤記念館」（以下「財団」という。）が設立され、令和元年度で7年目を迎えます。

その中で、平成26年4月からは事業運営と施設の管理運営を一体的に担う調布市の指定管理者制度が導入されたことから、当財団が最初の指定管理者に指定され、令和元年度からはその二期目（指定管理期間10年）に入ります。また、引き続き、調布市実篤公園（以下「実篤公園」という。）と園内の旧武者小路実篤邸（以下「旧実篤邸」という。）の日常管理についても調布市より受託します。

当財団では、これまでの指定管理者としての5年間の実績を基に、実篤記念館を拠点として、「武者小路実篤（以下「実篤」という。）の業績を顕彰し、広く市民の教養、文化の向上に寄与する」という設置目的を達成するべく、市民の誇れる文化施設として「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を展開する中で、利用の促進を図るとともに、地域の魅力向上に貢献して参ります。

事業運營業務では、日本で唯一の「実篤・白樺・新しき村」の情報発信基地として、文学、美術、演劇及び新しき村と、幅広い分野にわたる活動を紹介するとともに、日本近代文学・美術を代表する作家や画家たちとの交流など、実篤の多面的な魅力を存分に発揮するように様々な事業を展開します。また、「何度でも行きたくなる実篤記念館」を目指し、リピーターの定着と積極的な広報活動により認知度を高めて、新規利用者の開拓を図りながら良質な事業の提供に取り組みます。

施設管理業務に当たっては、芸術鑑賞施設として子どもから高齢者まで様々な利用者が訪れることから、安全で快適、清潔な施設の運営管理に取り組むとともに、貴重な財産を後世に継承するため、資料等を良好な状態に保存する環境の維持に努めます。これにより、施設機能を十分に発揮した事業活動を円滑に展開できるように努め、更なる市民サービスの向上を図ります。

実篤公園は、国分寺崖線にあることから、湧水にはぐくまれた武蔵野の自然を残しております。また、実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者が関心を持つ旧実篤邸は、平成30年に国の登録有形文化財として登録されました。実篤記念館と実篤公園・旧実篤邸が一体となって、より一層の魅力を高めていきます。

当財団は公益的な責務を果たし、より安定性及び継続性のある効率的な管理・運営体制を構築するために、次のとおり事業目標を設定するとともに、組織・運営体制を強化し、積極的な事業展開を進めます。また、2019・2020年には、国内外から多くの来訪者が見込まれる国際的なスポーツの大会も控えており、市民を始め、地域の企業やNPO法人、大学等の多様な主体と連携した魅力ある事業や、スタンプラリーをはじめとする他館連携により多摩地域の回遊性の向上など、指定管理者として二期目の10年間を見据えた財団運営を行って参ります。

<事業目標>

1 武者小路実篤の顕彰

年7回の展示事業、武者小路実篤及び周辺資料の積極的な収集、整理、保存及び調査研究を継続的に実施します。

2 実篤記念館のブランド化（日本で唯一の実篤研究の情報収集発信基地）

武者小路実篤の顕彰をベースに、「情報収集発信基地」としての機能を充実させ、内外に情報発信できる日本で唯一の「実篤、白樺、新しき村の研究施設」を目指します。

3 次代を担う子どもたちへのアプローチと利用の拡大

学校教育において活用しやすいメニューの開発と提供など、子どもたちへの積極的な働きかけにより、未来の来館者の育成と人間愛・郷土愛を育む取組を実施します。

4 実篤記念館と実篤公園を活用した事業展開

実篤記念館及び実篤公園について、より効率的で効果的な運営体制の構築を目指します。また、登録有形文化財に指定された旧実篤邸の新たな活用方法を検討しながら、更なる市民サービスの向上を図ります。

5 館の外へとつながる事業

実篤記念館から外に出て、武者小路実篤の活動や魅力を伝えて参ります。地域や近隣市の関係機関との協力事業、展覧会や講座等の開催協力など積極的に取り組めます。

また、独自ツイッターを始めとした情報を発信するなど、認知度を高め、多くの人とつながる様々な事業を展開します。

<組織・運営目標>

1 財団の安定した組織づくり並びに組織の透明性及び信頼性の向上を図るとともに、効率的で効果的な運営に努めます。

2 実篤記念館が目指す中・長期的な展望を持って、将来像（事業目標）を実現するための事業について、計画の策定等を進めていくなど継続性を持って実行します。

3 安定した法人運営を行うために、職員の人材育成を促進します。

4 財団としての特徴と独自性を生かし、事業の幅と奥行きを広げることにより、全ての市民が利用できる施設として、来館者一人一人が満足してもらえるサービスを提供します。

2 令和元年度重点的な取組

(1) 学校との連携の推進

実篤と記念館に親しむ機会を作るとともに、当館のもつ豊富な作品・資料や情報を学校の教育活動に生かし、またボランティア体験や部活動などの成果発表の場を提供し、子どもたちに幅広い学習の機会と経験を提供します。更に、地域の博物館である実篤記念館と学校が協力することにより郷土愛を育むための、博学連携プログラムやその活用体制づくりなど、次代を担う層へのアプローチを積極的に推進します。

(2) 秋の特別展「長與善郎と実篤」（調査・研究成果の活用）

平成29年度に白樺同人・長與善郎のご遺族から借用した関連資料について、引き続き整理と調査を進め、所蔵者のご意向を確認しながら受贈に向けて整備します。またそれらの資料を活用

し、令和元年度秋の特別展を開催します。

(3) 「友情」発表100年 リレー展示

実篤の代表作「友情」が、大正8（1919）年に発表されてから100年となることから、令和元年度は一年を通して、全ての企画展・特別展において、各展覧会で「友情」コーナーを設け、様々な側面から紹介します。

(4) 登録有形文化財「旧武者小路実篤邸」の保存と活用

平成30年11月に国の登録有形文化財に登録された旧実篤邸について、建設から60年以上を経過した建物を後世に伝えていくために、状態を把握し、良好に保ち、また郷土博物館と連携して保存のために必要な措置を適切に実施できるよう努めるとともに、公開・活用を進めます。

(5) ボランティアの養成

平成15年度に活動を開始したボランティアは、ボランティアガイドや、普及事業のサポート、環境整備などで、実篤記念館の事業を展開するうえで大きな力となっています。特に、ボランティアガイドは利用者から大変好評を得ており、充実が望まれているため、平成26年度以来5年ぶりに新規養成を行います。

(6) 他施設との連携の推進

当館が蓄積してきた情報と教育資源を生かし、郷土博物館はもとより、公民館3館、文化会館たづくり、せんがわ劇場など市内施設と、事業の提供や共催事業の開催などで連携をさらに進めます。また、従来の多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に加え、府中市美術館・小金市立はげの森美術館と当館の3館でスタンプラリーを実施し、広く当館と事業の周知を図るなど、他施設との連携に積極的に取り組み、外へつながる事業展開に努めます。

(7) 作品・資料の保存環境整備

実篤記念館が収蔵する作品・資料を、状態を保って保存し後世に伝えるために、温湿度を調整するなど保存環境の維持・改善に努めます。令和元年度は、虫菌害を防止するために隔年で行っている収蔵庫の燻蒸消毒を実施します。

3 事業概要

展示、普及を通して、実篤の人物と作品・業績を紹介し、理解を深め、顕彰に努めます。身近で親しみのある教育、芸術・文化の場として、「地域の人々が気軽に学ぶ場」を提供し、市民の誇りとなる「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を積極的に展開します。

(1) 展示事業

年2回の特別展と5回の企画展を開催します。特別展は春には「実篤がみた女性たち」、秋には「長興善郎と実篤」を、企画展では平成27年度以降に新たに収蔵した作品・資料を紹介する「新収蔵品展」等を開催します。また、実篤の代表作「友情」発表100年を記念して、年間を通じて展覧会ごとにコーナーを設け、様々な側面から顕彰します。

展覧会をより深く鑑賞し、内容の理解を助けるため、展覧会の内容に合わせて鑑賞カードやクイズなど適切なツールの作成・提供に努めます。

(2) 普及事業

学校教育との連携では、従来の学校図書館への出張展示や出前授業、部活動の成果発表などの実施先の拡大に努め、更にアクティブラーニング、文学・美術鑑賞教育、様々な体験授業、読書学習、自然観察、道徳教育等、多岐にわたる方向から実篤や実篤記念館の持っている魅力を伝え、

活用していただくために、博学連携プログラムの作成とその体制づくりを更に進めます。市内の実篤記念館から遠距離にある学校でも、プログラムを活用し、実篤に親しむ機会を増やし、未来の利用者につなげていきます。

夏休み事業の一部に導入している中学生によるボランティア活動への参加を広げていくために、市内全域の中学校への働きかけに努めます。また令和元年度は更に子どもや若者の社会参加や協働を進めることを目的として、高校生、大学生のボランティア参加に向けてニーズと要件の把握に努め、環境整備を図ります。

また、郷土博物館との協力事業として、双方の収蔵資料を相互に活用し、また夏休みの子どもむけ事業の案内印刷物を共同で作成・配布するなど、協力事業を展開します。

協力ボランティアの活動を継続し、より充実したものとするため、新規ボランティアの養成を行います。

独自ツイッターの運用や、他館や各種団体への講師派遣や事業の提供などを、積極的に展開します。また、従来の多摩川流域自治体交流「イベントラリー」参加に加え、府中市美術館・小金市立はげの森美術館と当館の3館でスタンプラリーを実施し、自治体間・近隣施設間の連携を深め、かつ実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とするなど、調布市の関係部署や他の市区町村との連携を通して、より広く実篤記念館の事業活動の普及に努め、認知度を高めます。

(3) 資料収集・管理事業

実篤記念館の収蔵資料の充実を図るため、情報を集め、購入、寄贈、寄託等、収集に関わる業務を行い、また、美術品等の購入について市へ提案していくとともに、作品・資料の貸出等に対応します。

(4) 資料整理・保存事業

資料整理に努め、所蔵資料が事業全般で活用できるように積極的に取り組み、整理後は収蔵品データベースへの登録作業を進めます。

後世に貴重な作品・資料を伝えるため、温湿度のモニターを行い、保存環境の管理に努めます。

また、実篤等の自筆原稿の劣化を防ぎ、展示事業に活用するために複製を作成するほか、保存状態の良くない作品・資料の修復なども行い、収蔵作品・資料の適切な保存・管理を図ります。

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

実篤の文学作品を鑑賞し、また学習・研究ができるよう、閲覧サービスを行うとともに、情報を蓄積し、実篤に関する問合せに対して調査回答するレファレンスサービスの向上を図ります。資料整理に伴うデータ入力により収蔵品データベースの充実を図り、情報提供システムの活用を通して収蔵品や実篤に関する情報を広く公開するとともに、システムの安定的な運用に努めます。

(6) 調査・研究事業

平成29年度に白樺同人・長與善郎のご遺族から借用した関連資料について、引き続き整理と調査を進め、所蔵者のご意向を確認しながら受贈に向けて整備し、またそれらの資料を活用して秋の特別展を開催いたします。

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会開催に合わせ、実篤とオリンピックの関わりを紹介するため、関連資料の研究と情報の収集を進めます。

調布市の「映画のまち調布」の一端を担うため、実篤と関連付け、実篤の文学作品の映画化に関する資料の調査と情報収集を継続的に行います。

(7) 自主事業

物販事業は、自主財源を増やすとともに、その収益を自主事業（観梅会、朗読会など）の充実や、魅力あるミュージアムグッズづくり、仙川駅前地図広告掲載費用等に充て、普及事業の更なる充実をサポートします。また、令和元年度も引き続きミュージアムショップの棚やワゴンをリニューアルし、より魅力ある売場を演出するように努めます。

更に、販売事業を通して、広く実篤や記念館事業を広報し、より多くの人に実篤や実篤記念館を周知し、認知度を高めます。

(8) 施設管理事業

施設・設備の経年劣化による各種の不具合が発生しているため、利用者の安全性、快適性を維持するとともに、所蔵している実篤関連の資料や作品を、永く後世に伝えていくための展示及び保存環境を確保し、利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるように、施設や設備の日常管理に努めます。

令和元年度は、作品・資料の収蔵環境を守るために隔年で行っている燻蒸作業を実施します。

また、館内エレベータの安全を確保するため、シーケンサー（操作基盤）の取替修繕を行います。

更に、展示室・閲覧室、地下収蔵庫の空調設備については、適正な温湿度となるように温湿度を記録し、状態を確認しながら空調機器の稼働調整に努めます。

実篤記念館の案内サインについては、調布市公共サイン整備ガイドラインに基づき、デザインの統一を図り、英文表記も加えて計画的に整備を進め、利用者に分かりやすい案内サインにします。

(9) 財団運営

財団運営にあたり、これまでの5年間にわたる指定管理者として培ってきた経験と実績及び信頼を最大限に発揮して参ります。令和元年度からは指定管理の期間が10年となり、財団はより長期的な展望を持って事業計画に取り組み、人材確保と育成を図ることができるようになります。職員が安心してスキルアップに励みながら業務に当たれることとなり、安定した財団運営や事業内容の充実につなげます。

財団は小規模な組織であることから、事業部門と総務部門の職員を相互に異動することで、それぞれの業務を理解した上で実務にあたっております。引き続き、財団全体の事業運営を活性化させ、柔軟な組織運営を図り、協力体制を構築する取組を実現させるように努めます。

人材育成については、職員一人一人のスキルアップを図るとともに、財団内の実務、研修の実施などにより、ベテラン職員から若手職員へ知識や技術の継承を進めます。また、専門分野となる事業、および施設管理、法人経営の外部研修等に積極的に参加し、業務の資質向上が図れるよう職員の育成に努めます。

運営費用については、利用料金を始めとする事業収入の安定確保に努めるとともに、自主財源を確保し、利用者へのサービスと事業の質が低下することがないように、効率的・効果的な事業運営を行うことで、経費の抑制を図ります。

また、アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、ニーズへの的確な対応を図り、事業や施設の管理運営、利用者の満足度アップや利用促進に反映するように努めます。

4 事業内容

(1) 展示事業

実篤記念館では年間を通じての常設展示とはしないで、実篤の文学・美術・演劇・思想といった幅広い活動を、分かりやすく理解できるように多角的に紹介することにより、魅力ある展示事業を目指します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	展示事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 実篤の幅広い活動を紹介していくために多角的なテーマを設けるとともに、実篤記念館の充実した収蔵品を紹介して、いつでも新しい発見がある展示作りを目指す。 関係機関、協力者等との協力を深めながら、年間で2回の特別展と5回の企画展を開催する。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春の特別展「実篤がみた女性たち」 ・秋の特別展「長與善郎と実篤」 ・企画展5回 ・「友情」発表100年 リレー展示（年間） <p style="text-align: right;">*詳細は別紙のとおり</p>	3,918
2	外部展示事業 (受託事業)	<p>【対象】 一般</p> <p>【事業概要】 実篤の幅広い活動や実篤記念館の多岐にわたる収蔵品を広く紹介していくために、他の文学館・美術館等で開催する展覧会の企画・構成や展示協力を受託する。</p>	6

(2) 普及事業

普及事業を通して実篤についてより理解を深め、身近で親しみのある教育・芸術・文化の場として、「地域の人々が気軽に学ぶ場」を提供します。

また、市民の誇りとなる「武者小路実篤を核とした特色ある事業」を積極的に展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	講演会・講座等 事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 講演会を始め各種講座を開催して、「武者小路実篤を核とした特色ある事業」として、幅広い世代に対し良質な普及事</p>	2,200

		<p>業を提供することにより、身近で親しみのある教育、芸術・文化の場、また、市民の誇りとなるような事業を展開する。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実篤記念館から外へとつながる普及事業を積極的に展開して、市内施設や他団体等との共催事業や出前事業を実施する。 ・ 好評の読書講座，自然観察会，美術講座等の開催 ・ アンケート調査の実施により，受講者の開拓，事業内容の充実を図る。（通年） ・ 展覧会ごとに各2回の展示解説を開催。（通年） ・ 団体利用者に対する解説を実施。（通年） ・ 桐朋学園大学，東部公民館等の地域施設や地元仙川商店街等地域と連携した事業に取り組む。（通年） ・ 郷土博物館や市内施設及び近隣美術館等で事業連携を深め，実篤と実篤記念館の認知度を高める。（通年） ・ 多摩川流域自治体交流「イベントラリー」に参加して，広く情報を発信することにより，実篤記念館の魅力を体感してもらう機会とする。 ・ 他機関の事業活動に協力して，講師を務めるなどの機会を通して，実篤や記念館事業の普及に努める。（通年） ・ 新しき村の記録映像を活用し，村の暮らしをテーマとした作品の編集を行い，情報提供システム等で公開する。（通年） 	
2	<p>学校教育との連携事業 (指定管理事業)</p>	<p>【対象】 市内小・中学校</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が持つ文学，美術，自然，情報等の様々な要素を活用して，小・中学生を対象とした「調べ学習」，「創作」「芸術鑑賞」を中心としたキッズプログラムの充実に取り組み，実篤や実篤記念館に親しむ機会を増やす。</p> <p>様々な広報を通して，身近にある教育・文化施設としての認知度を高め，利用促進を図る。</p> <p>事業を通して子供たちに多様な体験を提供して，幼い頃から芸術・文化に触れることにより，子どもたちの感性を磨き，自身で考える力，豊かな心を育くむために，博学連携プログラムやその活用体制づくりなど次代を担う層へのアプローチを積極的に推進する。</p>	800

		<p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休み講座，夏休み自由研究サポートをさらに充実した内容で開催 ・「調べ学習」，「創作」，「芸術鑑賞」等のキッズプログラムの充実（通年） ・学校図書館へ，実篤関連資料や情報を提供する。（通年） ・学校での出張展示や出前講座を実施する。（通年） ・鑑賞教育，職場体験，訪問等の学校事業に協力する。（通年） ・学校で地域ゆかりの文化遺産である実篤と記念館に親しむ機会となる事業企画を推進し，博学連携プログラムや活用体制づくりを進め，より学校との連携を深める。 ・中学生ボランティアを更に進め，市内全域の中学校に広げていくとともに，高等学校，大学からのボランティア参加を広げるために環境を整備する。 	
3	ボランティア事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 市民，地域との連携を図る協力ボランティアの活動は，現在，幅広い普及活動を展開する上で大きな力となっており，充実した活動を進める。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動の充実を図るために，養成講座とステップアップ講座を開催 ・ボランティアによるガイドの実施（通年） ・ボランティアによる「実篤に挑戦！」の実施（4月，7月） ・普及事業，環境整備のサポート活動（通年） ・ボランティアの活動環境を整備（通年） 	250
4	友の会事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 友の会事業は実篤記念館と来館者を結ぶものであり，会員の増強に努め，会員に関連情報を提供する友の会ニュースを定期的に発行する。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友の会ニュースの発行（年6回） 	100

5	広報事業 (指定管理事業)	<p>◎広報資料の作成, 配布</p> <p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 実篤記念館事業について各方面に積極的な広報を実施して、財団の事業及び名称の認知度を高める。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展ポスター及びチラシの作成, 配布 (年2回) ・展示案内の作成, 配布 (年1回) ・企画展, 講座等のミニポスター等の作成, 配布 (通年) ・館報の編集, 配布 (年2回) ・市報等への情報提供 (通年) ・報道機関への情報提供と各種取材への対応 (通年) 	1,600
		<p>◎印刷物編集・刊行事業</p> <p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 実篤の活動や所蔵資料を紹介する刊行物を編集及び刊行して、広く実篤への理解を深める。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展パンフレットを編集・刊行。(年2回) 	1,160
		<p>◎ホームページ</p> <p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 ホームページを運用することにより、広く実篤や実篤記念館事業を広報して、より多くの人に実篤の魅力や記念館の事業活動を周知し、認知度を高める。</p> <p>【令和元年度】 ホームページの内容の充実と迅速な情報提供に取り組み、より多くの方々に事業や実篤関連情報、事業記録等を周知するように運用する。また、調査・研究の成果を順次ホームページで公開する。 平成29年に開設した独自ツイッターを効果的に利用して、実篤記念館と実篤関連情報を提供することにより、より広く情報を発信する。</p>	1,440

	<p>◎ぐるっとパス事業</p> <p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 「東京・ミュージアムぐるっとパス2019」事業を通して、実篤記念館の活動を周知し、広報の充実に取り組む。</p> <p>【令和元年度】 東京の美術館・博物館等共通入館券実行委員会が主催する「東京・ミュージアムぐるっとパス2019」に参加して展覧会や事業の広報、普及に努める。 (通年、ポスター・チラシ年2回発行)</p>	150
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----

(3) 資料収集・管理事業

所蔵資料の充実を図るための情報を集めたり、購入を始め収集に関わる業務を行い、また、美術品等の購入については市へ提案していくとともに、後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存環境の管理に努め、所蔵資料が事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料収集・管理事業 (指定管理事業/助成事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 収集事業では、実篤記念館が事業の充実を図るために必要に応じて関係資料を収集しており、財団は収集に関する各種情報を集め収集業務を担う。また、美術品等の購入については市へ提案する。 管理事業では、市の条例等を遵守して、資料の貸出及び特別撮影等の申請受付、承認を行う。 また、日常的に収蔵環境を把握し適切な状態で収蔵するように努める。</p> <p>【令和元年度】 (1) 収集 ・書画、原稿、書簡、図書、雑誌、写真、映像音声資料、その他関連資料の情報を集め、購入収集について市へ提案する。 ・図書、雑誌の購入作業を行い、市へ報告する。 ・寄贈、寄託受入手続きを行い、市へ報告する。 (2) 資料管理 ・貴重な作品、資料の保存環境を管理し、環境整備が必要な場合は、市へ提案する。(通年)</p>	1,762

	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な作品，資料のため動産保険加入手続き等を実施する。（通年） ・作品，資料の利用申請，承認手続き及び貸出・返却に伴う作業を行う。（通年） ・作品，資料の特別撮影への対応を行う。（通年）
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(4) 資料整理・保存事業

収集した資料を整理し，データベースへの入力作業，後世に貴重な作品・資料を伝えるための保存作業に努め，事業全般で活用できるように積極的に取り組みます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	資料整理・保存事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 資料整理・保存事業では，収集された作品・資料を速やかに整理して，収蔵品データベースへの入力作業を進める。 また，良好な状態で保存して，後世に貴重な作品・資料を伝えるように努め，収蔵品をより活用できるように積極的に取り組む。</p> <p>【令和元年度】</p> <p>(1) 整理・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料を整理し，状態把握に努めて，良好に保存する。（通年） ・収蔵品や関連資料の記録撮影，写真パネル等を整備する。（通年） ・河野通勢関連作品・資料の整理，データ化を進める。（通年） <p>(2) 所蔵作品・資料等の修復，複製制作等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所蔵作品・資料の適切な保存管理を図るため，資料状態の把握と計画的な修復作業を実施する。（通年） ・貴重資料の複製を制作し活用する。（通年） <p>(3) 収蔵品データベースの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実篤記念館が収蔵する作品・資料，実篤に関する情報の入力作業を進め，収蔵品データの充実を図るとともに，展覧会，レファレンス業務，収蔵品管理等に活用する。（通年） ・未整理収蔵資料をデータ化し，収蔵品情報の充実に努める。（通年） 	1,666

(5) 閲覧サービス・情報公開事業

所蔵資料の閲覧，実篤に関する問合せに対して調査回答するレファレンスサービスの向上と，情報提供システムの活用を通して，所蔵品や実篤に関する情報を広く公開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	閲覧サービス 事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 実篤を始め，白樺，新しき村に関する資料や，近代文学・美術の図書を開架する閲覧室を中心に，資料の充実と活用の促進を図るとともに，更に実篤関連情報に関するレファレンス業務を行って，一層のサービス向上に努める。</p> <p>【令和元年度】 (1) 一般閲覧 ・閲覧室における，閲覧・レファレンス業務，開架図書の管理，閉架図書の出納及び図書の紹介。(通年) ・展示室と閲覧室の休室が重なる日は，閲覧室を開室する。 (2) 特別閲覧 ・特別資料の閲覧・レファレンス業務(通年)</p>	65
2	情報公開事業 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 実篤記念館が収集した作品，資料，文字，画像，映像，研究情報，記録データ等を活用して，これらを収録した情報提供システム(収蔵品データベース，情報閲覧システム，映像視聴システム，ホームページ)を運用することにより，多岐にわたる情報の公開に努めて，利用の促進を図る。</p> <p>【令和元年度】 ・情報提供システムの運用 新たに収集した作品，資料，文字，画像，映像，研究情報記録データ等の情報は，収蔵品データベースを始めとした情報提供システムに追加・更新して公開する。</p>	3,391

(6) 調査・研究事業

広く開かれた「実篤、白樺、新しき村」の情報収集発信基地となるべく調査・研究に取り組み、その成果を事業全般にわたり活用を図ります。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	調査・研究事業 (指定管理事業)	【対象】 市民・一般 【事業概要】 「実篤、白樺、新しき村」に関する情報収集発信基地としての役割を担い、特別展関連及び収蔵資料の調査を実施する。 他の文学館、美術館や研究機関等の協力を得ながら、調査及び研究活動を進めることで、所蔵資料や関連資料の新たな情報を得て、作品・資料の利用価値を高める。また、調査・研究で得た情報を事業に活用し順次公開する。 【令和元年度】 <ul style="list-style-type: none">・実篤の作品発表に関する情報収集、記録、作品リストの充実（通年）・所蔵作品・資料の調査（通年）・白樺同人・長與善郎関係資料の調査（通年）・他の機関の研究・事業活動への協力（通年）・調査、研究成果をホームページで順次公開（通年）	265

(7) 自主事業

自主事業の中心となるミュージアムグッズの販売により、自主財源を増やして普及事業をサポートするとともに、実篤や実篤記念館の認知度アップを図ります。

市からの指定管理と受託事業以外において、自主財源を増やして、自主事業に取り組むことにより、更に充実した事業を展開します。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	物品販売事業 (自主事業)	【対象】 市民・一般 【事業概要】 ミュージアムグッズ販売事業は、自主財源を増やすとともに、その収益を自主事業の充実や魅力あるミュージアムグッズづくりに充て、普及事業の更なる充実を図る。 また、販売事業を通して、広く実篤や記念館事業を広報することにより、より多くの人に実篤や実篤記念館を周知して、認知度を高める。 【令和元年度】	6,930

		<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムグッズの販売 ・魅力あるミュージアムグッズの開発 ・販売事業を通して、実篤、記念館の認知度を高める。 ・ミュージアムグッズコーナーのリニューアルを実施 	
2	自主事業 (自主事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 調布市の指定管理事業以外に自主財源を増やし、事業の充実を図るために、自主事業に取り組む。</p> <p>【令和元年度】 (1)自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朗読ワークショップの開催（年1回） ・観梅のつどいを開催（年1回） ・文化施設や団体、民間事業者と連携した自主事業（通年） 	1,040

(8) 施設管理運営事業

実篤記念館は「公共の施設」であり、芸術鑑賞施設であることを踏まえて、利用者の公平・平等性を確保するとともに、実篤記念館の設置目的を踏まえた適切な運営に努めます。

施設維持管理については、施設の維持保全、安全・快適・清潔な施設の維持管理を行います。

また、実篤公園及び国の登録有形文化財に登録された旧実篤邸の日常管理業務も行い、実篤記念館、実篤公園を一体的に管理することで、利用者がより快適に利用できるように努めます。

(単位：千円)

No.	事業名	事業内容	予算額
1	実篤記念館施設 管理運営業務 (指定管理事業)	<p>【対象】 市民・一般</p> <p>【事業概要】 市の条例等に基づいて、利用者が公平かつ平等に利用できるように努める。 また、利用者の立場に立ち、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理する。 開館33年を超え、施設・設備の経年劣化による不具合も発生しているため、必要な修繕を実施する。 利用者の安全性、快適性、更に所蔵している実篤関連の資料・作品を永く後世に伝えて行くための展示及び保存環境を確保する。利用者が良好な状態のもとで鑑賞できるよう、中長期的な視点から施設の不具合等の必要な修繕について市に</p>	15,406

		<p>提案する準備を進める。</p> <p>また、利用者と職員の安全確保と収蔵品を保護するために、職員全員が参加する防災訓練を調布消防署の立会の下で実施する。</p> <p>【令和元年度】</p> <p>電気、空調設備等の施設及びこれに附帯する設備の操作、保守点検業務、維持管理保全や清掃、警備、施設設備の軽微な補修、施設運営の維持経費である公共料金の支払を行う。</p> <p>(通年)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エレベータ設備のシーケンサー（操作基盤）取替え修繕 ・収蔵環境を守るため展示室、収蔵庫等の燻蒸作業を実施（隔年実施） ・要望が高い駅、バス停から実篤記念館までの案内板及び館内の案内サインを改修、整備する。 ・エントランスホールのガラス枠シール修繕 ・展示室、閲覧室、地下収蔵庫の空調機器を監視しながら、温湿度の調整に努める。 	
2	<p>実篤公園日常管理業務 (受託事業)</p>	<p>【対象】</p> <p>市民・一般</p> <p>【事業概要】</p> <p>実篤公園は、湧水と武蔵野の自然を残しており、旧実篤邸は実篤が実際に生活していた場として、多くの利用者に関心を持つ施設である。実篤記念館は、実篤公園と旧実篤邸の存在が相乗し合い、より一層の魅力を高める。</p> <p>実篤公園及び園内の旧実篤邸の日常管理を行い、利用者の立場に立って、安全かつ快適に利用しやすいように適切に管理する。</p> <p>平成30年11月に国の登録有形文化財に登録された旧実篤邸について、建設から60年以上を経過した建物を後世に伝えていくために、状態を把握して、良好な状態を保持するように適切な保存に努める。また、公開と活用を進めていく。</p> <p>また、自然の保全や公園施設の補修、旧実篤邸の保存について、市の対応が必要な場合は速やかに緑と公園課へ報告・提案する。</p>	6,786

【令和元年度】

- ・実篤公園の日常管理及び旧実篤邸の公開業務のほか、維持管理保全のため清掃、警備を行う。（通年）
- ・登録有形文化財となった旧実篤邸の保存に努めながら、認知度を高め活用を図る。（通年）

令和元年度 調布市武者小路実篤記念館 展覧会日程

<展覧会日程>

◎春の特別展「実篤がみた女性たち」

会期： 4月27日(土) ～ 6月 9日(日)

■燻蒸作業による休館・休室日

- ・全館休館 6月11日(火) ～6月21日(金)
- ・展示室休室 6月22日(土) ～6月30日(日)
- ・実篤公園は通常どおり開園

◎夏休み企画「おしえて！武者小路実篤」

会期： 7月 2日(火) ～ 9月 1日(日)

◎秋季展「版画を味わう」-周辺作家とコレクションから-

会期：9月7日(土) ～10月14日(月・祝)

◎秋の特別展「長與善郎と実篤」

会期：10月26日(土) ～12月15日(日)

◎企画展「西洋美術を見る眼」

会期：12月21日(土) ～ 1月26日(日)

◎企画展「読者に届くまで」- 自筆原稿・装幀・単行本-

会期： 2月 1日(土) ～ 3月 8日(日)

◎春季展「新収蔵品展」

会期： 3月14日(土) ～ 4月19日(日)

★「友情」発表100年 リレー展示

会期：平成31年4月27日(土)～令和2年4月19日(日)

令和元年度一般財団法人調布市武者小路実篤記念館

収 支 予 算 書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

I 事業活動収支の部

(事業活動収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 当初予算額	増減	備 考
大	中				
1	補助金	88,378	86,505	1,873	
	1 人件費	78,345	76,337	2,008	
	2 事務費	10,033	10,168	△ 135	
2	指定管理料	30,852	28,095	2,757	
	1 指定管理料	30,852	28,095	2,757	
3	受託事業収入	6,792	7,177	△ 385	
	1 受託事業(実篤公園日常管理)	6,786	6,552	234	
	2 受託事業(展覧会受託)	6	625	△ 619	
4	利用料	1,300	1,300	0	
	1 利用料	1,100	1,100	0	
	2 頒布料	200	200	0	
5	諸収入	351	351	0	
	1 事業参加費	100	100	0	
	2 友の会会費	100	100	0	
	3 雑収入	150	150	0	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	0	0	0	
6	自主事業収入	6,982	8,835	△ 1,853	
	1 自主事業収入	50	50	0	
	2 物品販売事業収入	6,450	7,000	△ 550	
	3 諸収入	480	484	△ 4	
	4 利子収入	1	1	0	
	5 繰入金	1	1,300	△ 1,299	
事業活動収入計 (A)		134,655	132,263	2,392	

(事業活動支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度 当初予算額	増減	備 考
大	中				
1	管理費	88,378	86,505	1,873	
	1 人件費	78,345	76,337	2,008	
	2 事務費	10,033	10,168	△ 135	
2	事業費	17,053	17,030	23	
	1 普及促進事業費	11,990	11,658	332	
	2 資料管理事業費	1,666	1,666	0	
	3 情報提供システム事業費	3,391	3,381	10	
	4 受託事業費	6	325	△ 319	
3	施設管理費	22,192	19,843	2,349	

	1 施設管理運営事業費	15,406	13,291	2,115	
	2 実篤公園管理事業費	6,786	6,552	234	
4	自主事業費	6,982	8,835	△ 1,853	
	1 積立金	10	10	0	
	2 物品販売事業費	5,932	7,450	△ 1,518	
	3 自主事業費	1,040	1,375	△ 335	
	事業活動支出計 (B)	134,605	132,213	2,392	
	事業活動収支差額 (C) 《(A) - (B)》	50	50	0	

II 投資活動収支の部

(投資活動収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度当初 予算額	増減	備 考
大	中				
1	投資活動収入	0	0	0	
	投資活動収入計	0	0	0	

(投資活動支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度当初 予算額	増減	備 考
大	中				
1	投資活動支出	1,000	0	1,000	
	1 固定資産取得費	1,000	0	1,000	
	投資活動支出計	1,000	0	1,000	
	投資活動収支差額 (D)	▲1,000	0	▲1,000	

III 財務活動収支の部

(財務活動収入)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度当初 予算額	増減	備 考
大	中				
1	財務活動収入	0	0	0	
	財務活動収入計	0	0	0	

(財務活動支出)

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度当初 予算額	増減	備 考
大	中				
1	財務活動支出	0	0	0	
	1 返還金	0	0	0	
	財務活動支出計	0	0	0	
	財務活動収支差額 (E)	0	0	0	

IV 予備費支出

(単位：千円)

科 目		予算額	前年度当初 予算額	増減	備 考
大	中				
1	予備費支出 (F)	50	50	0	
	当期収支差額 (C+D+E-F)	▲1,000	0	▲1,000	
	前期繰越収支差額	2,833	0	2,833	
	次期繰越収支差額	1,833	0	1,833	